

越谷市役所庁舎に関する市民アンケート 集計結果

平成26年5月

越谷市本庁舎整備審議会

目 次

1. 調査の概要	1
2. 集計解析結果	2
基本質問（回答者の属性）	2
現在の庁舎に関する質問	
質問1 市庁舎への来訪頻度と平均滞在時間	8
質問2 市庁舎への来訪目的	10
質問3 市庁舎への利用交通手段	13
質問4 現在の市庁舎の課題について	15
庁舎の機能に関する質問	
質問5 理想とする市庁舎像	30
質問6 市庁舎の果たす役割について重要視すること	33
質問7 市庁舎に必要と考えられる新たな機能について	36
自由回答（庁舎整備に関する意見・提案）	39
調査票	40

1. 調査の概要

①調査の背景と目的

越谷市役所本庁舎は、昭和44年の建設以来、45年が経過しているため老朽化が進んでいます。また、平成13年度に行った耐震診断の結果、大規模地震に対しては倒壊または崩壊する危険性が高いとされています。

市庁舎は、平常時は市民生活を支え、万一の災害発生時は応急対策や災害復興の拠点となる重要な施設であることから、市では、「越谷市本庁舎整備審議会」を設置し、本庁舎の整備に関し必要な事項について検討を進めています。このたび同審議会では、市民の方々の市庁舎の利用実態及び市民の望む市庁舎の姿を検討するための基礎資料とするため、本アンケート調査を行いました。

②調査実施主体

越谷市本庁舎整備審議会

③調査対象

市内に在住の18歳以上の3,000人の市民を無作為に抽出

④調査方法

調査対象者に郵送で配布し、郵送で回収

⑤調査期間

平成26年1月10日（金）～平成26年1月20日（月）

⑥アンケート標本数

1,423票（回収率 47.4%）

⑦調査項目

基本質問 回答者の属性（性別、年齢、居住地域、職業）

質問1 市庁舎への来訪頻度と平均滞在時間

質問2 市庁舎への来訪目的

質問3 市庁舎への利用交通手段

質問4 現在の市庁舎の課題について

質問5 理想とする市庁舎像

質問6 市庁舎の果たす役割について重要視すること

質問7 市庁舎に必要と考えられる新たな機能について

自由回答（庁舎整備に関する意見・提案）

2. 集計解析結果

基本質問（回答者の属性）

- 回答者の性別は、「女性」が 55.3%、「男性」が 42.1%で、女性の回答者が多くなっています。
- 国勢調査の性別割合と比べてみると、アンケート回答者は女性の回答者数の比率が多くなっています。回答者の職業に主婦が多いことが、女性の回答比率が多くなっている要因の一つと考えられます。

表 1 回答者の性別

選 択 肢	回答数	構成比
男性	599	42.1%
女性	787	55.3%
無回答	37	2.6%
合計	1,423	100.0%

図 1 回答者の性別

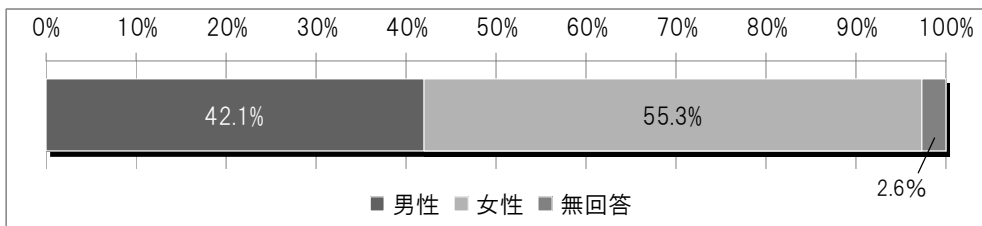
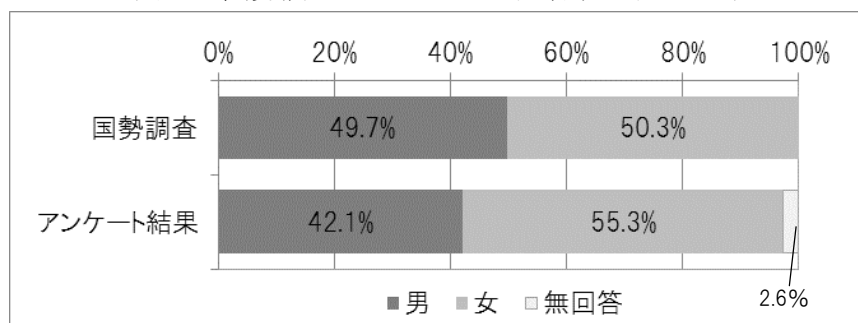


表 2 国勢調査とアンケート回答者の性別比率

	国勢調査	アンケート結果
男性	49.7%	42.1%
女性	50.3%	55.3%
無回答	—	2.6%
合計	100.0%	100.0%

図 2 国勢調査とアンケート回答者の性別比率



- 年齢は、「10才代」が1.3%（回答者数18人）で最も少なく、「20才代」が7.6%と、20才代以下の回答が少なくなっています。一方、回答者の割合が多いのは「60才代」が23.0%（回答者数327人）と最も多く、次いで「70才以上」の20.7%、「40才代」の18.6%などです。
- 国勢調査の年齢層割合と比べると、「20才代」と「30才代」の回答割合が少なく、60才代」と「70才以上」の回答割合が多くなっています。

表3 回答者の年齢

	総数	構成比
10才代	18	1.3%
20才代	108	7.6%
30才代	203	14.3%
40才代	265	18.6%
50才代	187	13.1%
60才代	327	23.0%
70才以上	295	20.7%
無回答	20	1.4%
合計	1,423	100.0%

図3 回答者の年齢

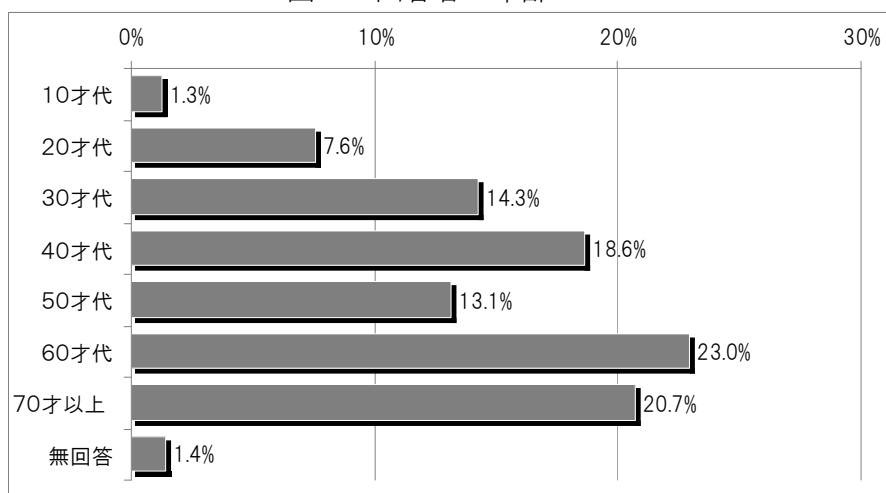
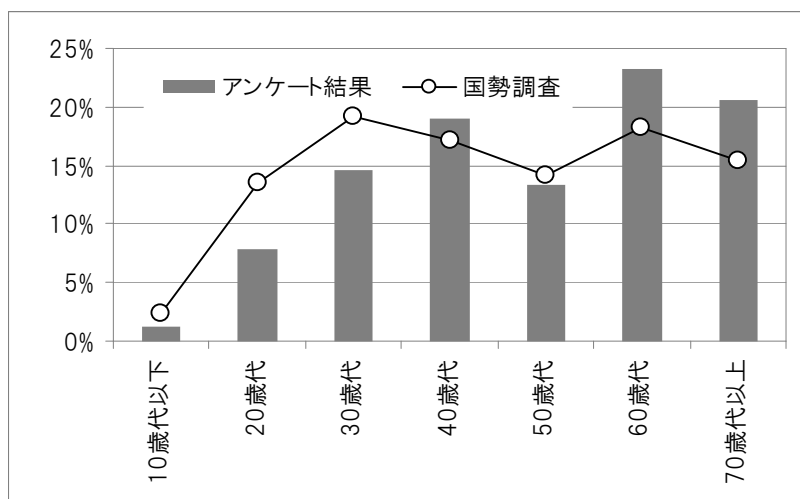


表4 国勢調査とアンケート回答者年齢割合の比較

	国勢調査	アンケート結果
10歳代以下	2.4%	1.3%
20歳代	13.6%	7.6%
30歳代	19.2%	14.3%
40歳代	17.1%	18.6%
50歳代	14.1%	13.1%
60歳代	18.2%	23.0%
70歳代以上	15.4%	20.7%
無回答	—	1.4%
合計	100.0%	100.0%

図4 国勢調査とアンケート回答者年齢割合の比較

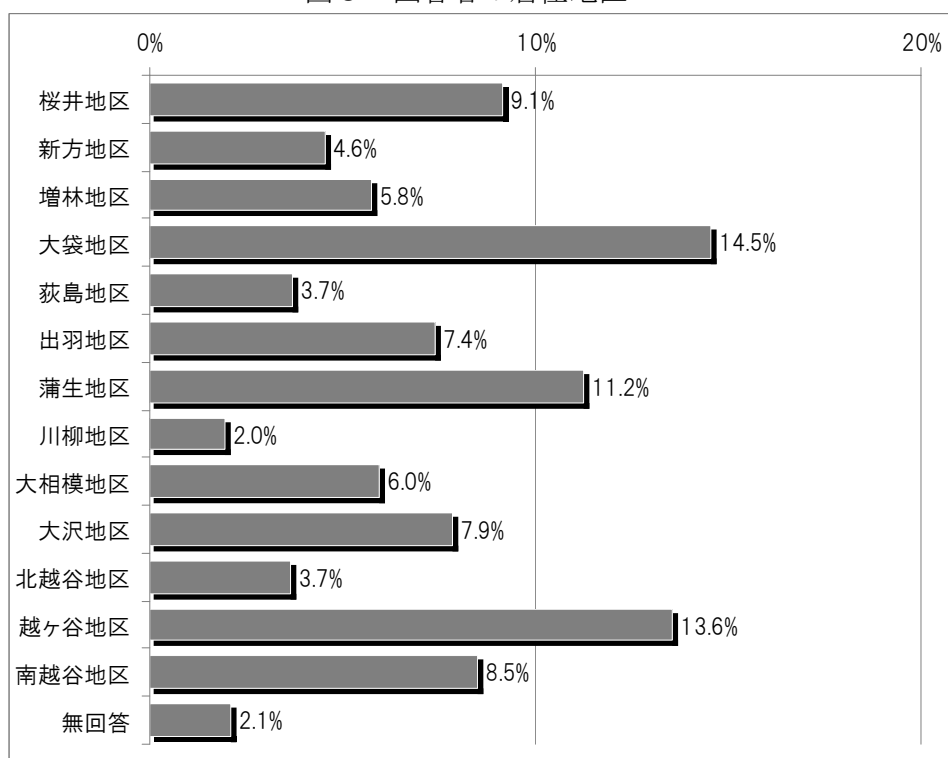


- 居住地区は、「大袋地区」が14.5%で最も多く、次いで「越ヶ谷地区」13.6%、「蒲生地区」11.2%の割合で多くなっています。一方、「川柳地区」は2.0%、「北越谷地区」と「荻島地区」もそれぞれ3.7%と少ない回答割合となっています。

表5 回答者の居住地区

選 択 肢	回答数	構成比
桜井地区	130	9.1%
新方地区	65	4.6%
増林地区	82	5.8%
大袋地区	207	14.5%
荻島地区	53	3.7%
出羽地区	105	7.4%
蒲生地区	160	11.2%
川柳地区	28	2.0%
大相模地区	85	6.0%
大沢地区	112	7.9%
北越谷地区	52	3.7%
越ヶ谷地区	193	13.6%
南越谷地区	121	8.5%
無回答	30	2.1%
合計	1,423	100.0%

図5 回答者の居住地区



- アンケート調査の対象者は、住民基本台帳からランダムに抽出しており、居住地区の回答については、概ね人口の多い順の回答となっています。
- しかし、越ヶ谷地区と増林地区は国勢調査人口の割合とアンケート回答者の割合が他の地区に比べて大きく異なっています。
- 越ヶ谷地区にアンケート回答者が多いのは、地区内に市役所があり、身近な施設として捉えているため回答率が高くなったものと考えられます。

図6 居住地区区分図

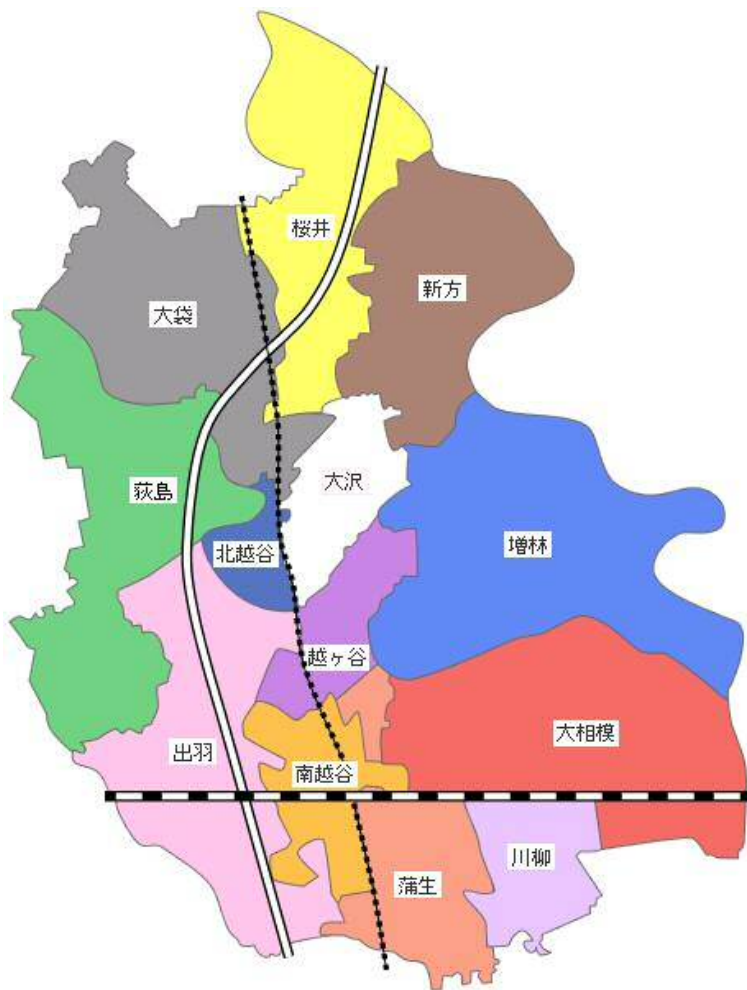


表6 国勢調査とアンケート回答者
居住地区割合の比較

	国勢調査	アンケート結果
桜井地区	12.1%	9.1%
新方地区	4.6%	4.6%
増林地区	10.0%	5.8%
大袋地区	15.5%	14.5%
萩島地区	3.8%	3.7%
出羽地区	9.7%	7.4%
蒲生地区	13.4%	11.2%
川柳地区	2.5%	2.0%
大相模地区	6.5%	6.0%
大沢地区	6.7%	7.9%
北越谷地区	2.5%	3.7%
越ヶ谷地区	4.5%	13.6%
南越谷地区	8.3%	8.5%
無回答		2.1%
合計	100.0%	100.0%

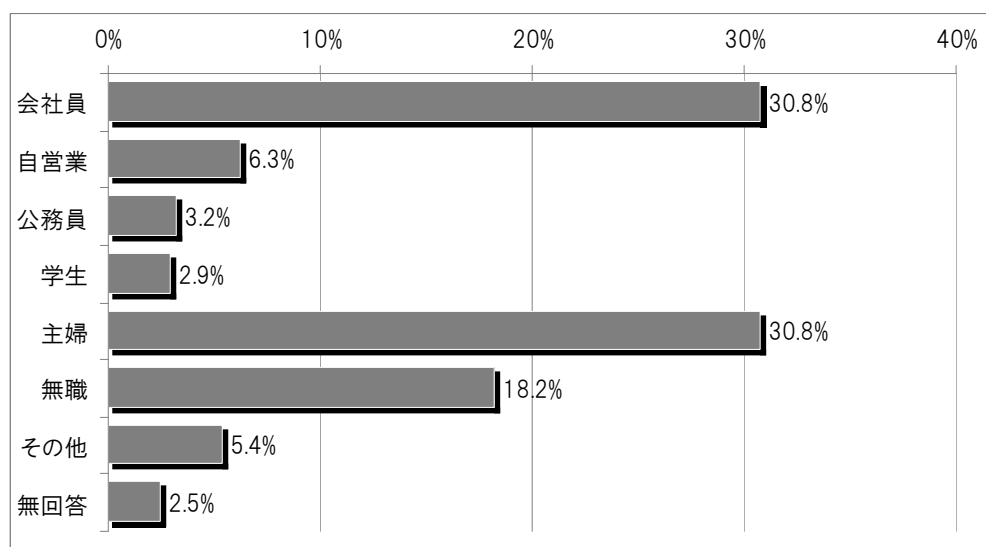
○職業は、「会社員」と「主婦」がそれぞれ 30.8%で最も多く、次いで「無職」が 18.2%、「自営業」6.3%の割合です。

○会社員の方からの回答と、ご家庭等でアンケートを記入し投函していただいた主婦の方からの回答が多くなっています。

表 7 回答者の職業

選 択 肢	回答数	構成比
会社員	438	30.8%
自営業	89	6.3%
公務員	46	3.2%
学生	41	2.9%
主婦	438	30.8%
無職	259	18.2%
その他	77	5.4%
無回答	35	2.5%
合計	1,423	100.0%

図 7 回答者の職業

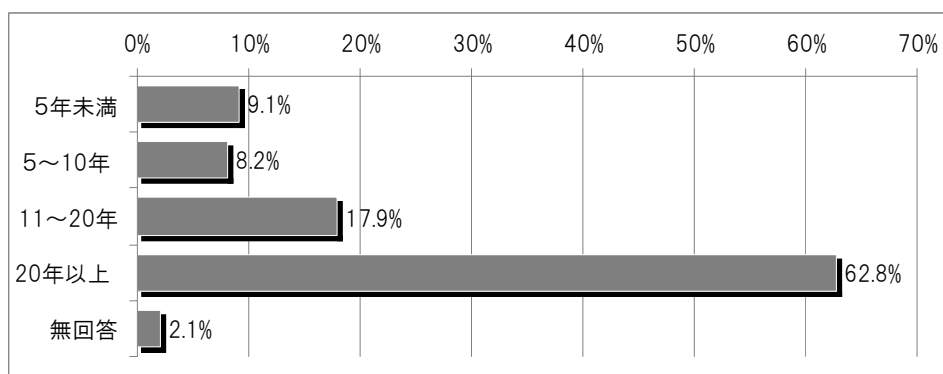


- 居住年数は、「20年以上」が62.8%を占めており、次いで「11年～20年」が17.9%の割合です。
- 「60才代」、「70才以上」の回答者が多かったことから、居住年数が長く、市の概要をご存知の方からの回答が多い結果となっています。

表8 回答者の居住年数

選 択 肢	回答数	構成比
5年未満	129	9.1%
5～10年	116	8.2%
11～20年	255	17.9%
20年以上	893	62.8%
無回答	30	2.1%
合計	1,423	100.0%

図8 回答者の居住年数



現在の庁舎に関する質問

質問1 あなたはこの1年間、どのくらいの頻度で市役所を訪れましたか。あてはまるものを1つ選んで、数字を○で囲んでください。また、2から6までを選んだ方は平均滞在時間もご記入ください。(1つ選択)

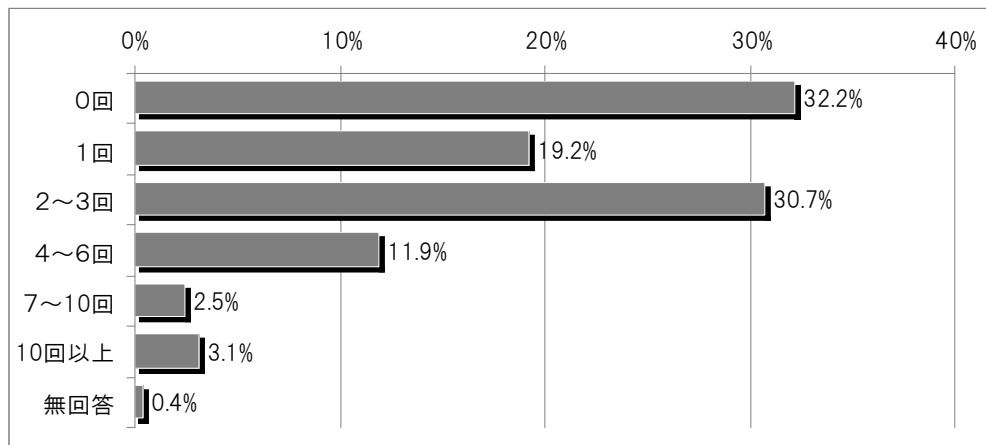
【全体集計：回数】

- 全体の約3割(32.2%)が「0回」と回答しています。
- この1年間に市役所を訪れたことがあると回答した人では、「2～3回」が30.7%で最も多く、次いで「1回」が19.2%となっています。

表9 この1年間に市役所を訪れた回数

選 択 肢	回答数	構成比
0回	458	32.2%
1回	273	19.2%
2～3回	437	30.7%
4～6回	170	11.9%
7～10回	35	2.5%
10回以上	44	3.1%
無回答	6	0.4%
合計	1,423	100.0%

図9 この1年間に市役所を訪れた回数



【クロス集計】

- 性別による来訪頻度に大きな違いは見られませんが、年齢層別に見ると市役所に1度も訪れなかった人は年齢層が低いほど多いようです。

表10 性別・年齢層別の来訪頻度の割合

選 択 肢	男性	女性	20才代以下	30～50才代	60才代以上	全体
0回	32.4%	31.8%	42.9%	33.0%	28.1%	32.2%
1回	19.2%	19.8%	13.5%	19.4%	20.6%	19.2%
2～3回	29.7%	31.1%	28.6%	29.0%	33.6%	30.7%
4～6回	11.4%	12.5%	11.1%	12.5%	11.4%	11.9%
7～10回	3.2%	2.0%	2.4%	2.0%	3.1%	2.5%
10回以上	3.5%	2.7%	0.8%	3.7%	3.1%	3.1%
無回答	0.7%	0.1%	0.8%	0.5%	0.2%	0.4%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

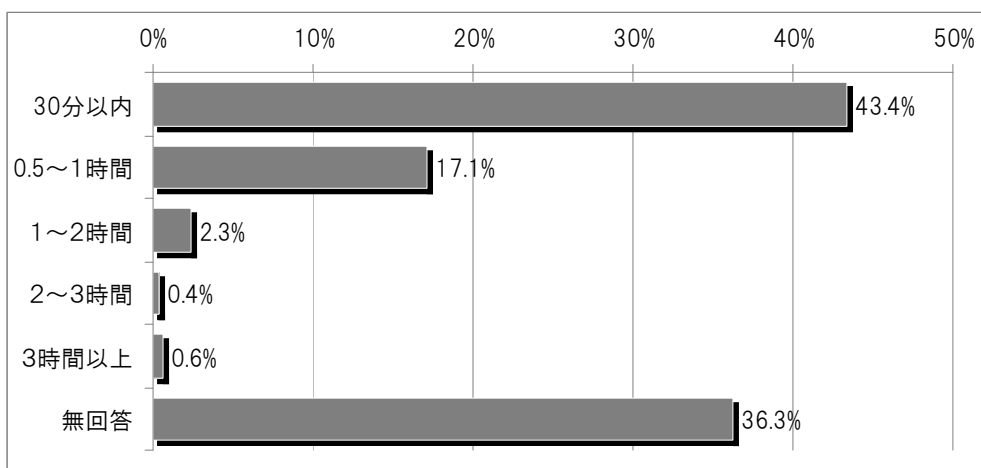
【全体集計：平均滞在時間】

- 平均滞在時間は、「30分以内」が43.4%で最も多く、次いで「30分以上～1時間以内」が17.1%となっています。無回答が36.3%となっているのは、市役所を訪れたことがない（0回）の人の回答が含まれているためと考えられます。

表 11 市役所来訪時の平均滞在時間

選 択 肢	回答数	構成比
30分以内	617	43.4%
0.5～1時間	243	17.1%
1～2時間	33	2.3%
2～3時間	5	0.4%
3時間以上	9	0.6%
無回答	516	36.3%
合計	1,423	100.0%

図 10 市役所来訪時の平均滞在時間



【クロス集計】

- 性別による平均滞在時間の違いでは、「3時間以上」の回答が男性に多くなっています。これは業務の打ち合わせ等によるものと考えられます。
- 年齢層別に見ると「20才代以下」では、30分以内が30才代以上に比べて少なく、0.5～1時間以内が30才代以上に比べて多くなっています。

表 12 性別・年齢層別の平均滞在時間の割合

選 択 肢	男性	女性	20才代以下	30～50才代	60才代以上	全体
30分以内	41.7%	45.2%	29.4%	45.5%	44.9%	43.4%
0.5～1時間	18.4%	16.1%	21.4%	16.8%	16.7%	17.1%
1～2時間	2.2%	2.3%	1.6%	2.1%	2.6%	2.3%
2～3時間	0.5%	0.3%	0.0%	0.2%	0.6%	0.4%
3時間以上	1.2%	0.3%	0.0%	0.8%	0.6%	0.6%
無回答	36.1%	35.8%	47.6%	34.7%	34.6%	36.3%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

質問2 (質問1で2から6までを選んだ方にお伺いします。)あなたは主にどのような目的で市役所を訪れましたか。あてはまるものを選んで、数字を○で囲んでください。また、その内容について右の欄からあてはまるものを○で囲んでください。(複数回答)

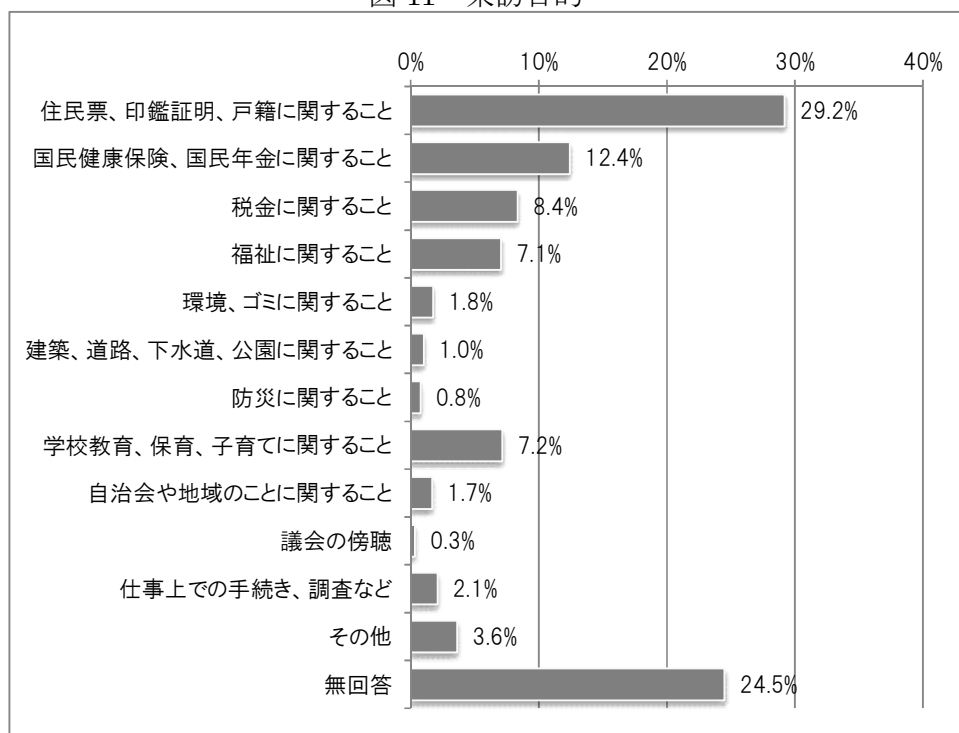
【全体集計：来訪目的】

○ 来訪目的の回答では、「住民票、印鑑証明、戸籍に関する事」が29.2%で最も多く、次いで「国民健康保険、国民年金に関する事」12.4%、「税金に関する事」8.4%、「学校教育、保育、子育てに関する事」7.2%、「福祉に関する事」7.1%の順であり、生活に密着した窓口業務に関する事が来訪目的の大部分を占めています。

表 13 来訪目的

選 択 肢	回答数	構成比
住民票、印鑑証明、戸籍に関する事	628	29.2%
国民健康保険、国民年金に関する事	267	12.4%
税金に関する事	180	8.4%
福祉に関する事	152	7.1%
環境、ゴミに関する事	38	1.8%
建築、道路、下水道、公園に関する事	22	1.0%
防災に関する事	17	0.8%
学校教育、保育、子育てに関する事	154	7.2%
自治会や地域の事に関する事	36	1.7%
議会の傍聴	7	0.3%
仕事上での手続き、調査など	45	2.1%
その他	78	3.6%
無回答	527	24.5%
合計	2,151	100.0%

図 11 来訪目的



【クロス集計：来訪目的】

- 性別による来訪目的の違いでは、男性は女性よりも「環境、ゴミに関すること」、「建築、道路、下水道、公園に関すること」、「防災に関すること」、「自治会や地域のことにすること」、「仕事上での手続き、調査など」を目的とした来訪の割合が多くなっています。
- 一方、女性は「学校教育、保育、子育てに関すること」を目的とした来訪の割合が男性よりも多くなっています。
- 年齢層別に見ると「50才代以下」では、「学校教育、保育、子育てに関すること」を目的とした来訪の割合が多く、「60才代以上」では「国民健康保険、国民年金に関すること」を目的とした来訪の割合が多くなっています。

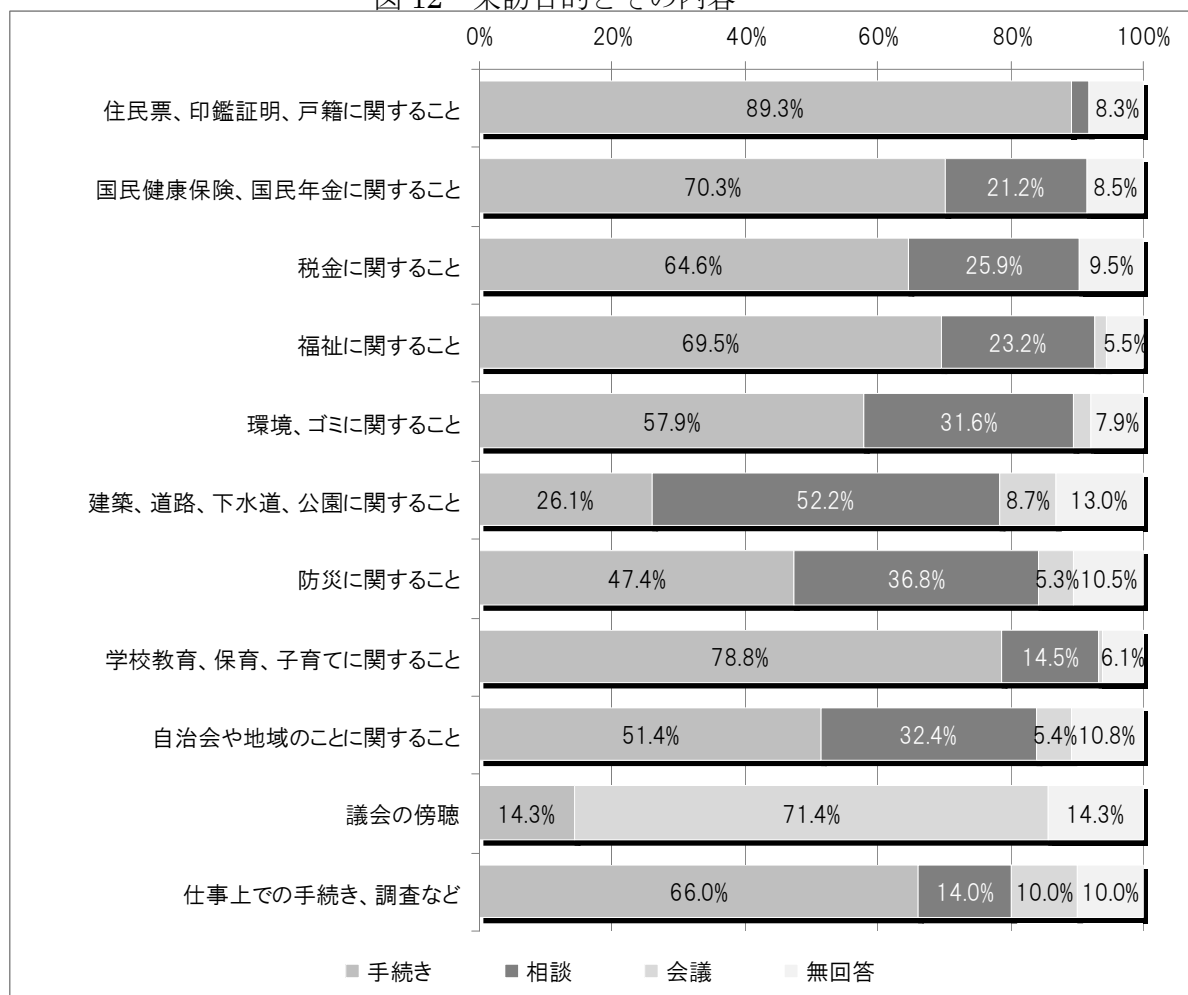
表 14 性別・年齢層別に見た来訪目的の割合

選 択 肢	男性	女性	20才代以下	30～50才代	60才代以上	全体
住民票、印鑑証明、戸籍に関すること	30.2%	29.1%	28.8%	32.0%	26.9%	29.2%
国民健康保険、国民年金に関すること	11.9%	12.5%	10.6%	8.4%	16.3%	12.4%
税金に関すること	8.1%	8.6%	5.9%	6.0%	11.1%	8.4%
福祉に関すること	7.0%	7.2%	3.5%	5.0%	9.8%	7.1%
環境、ゴミに関すること	2.1%	1.4%	0.0%	1.1%	2.7%	1.8%
建築、道路、下水道、公園に関すること	1.7%	0.3%	0.0%	0.4%	1.8%	1.0%
防災に関すること	1.2%	0.4%	0.6%	0.3%	1.3%	0.8%
学校教育、保育、子育てに関すること	4.0%	9.6%	10.0%	13.3%	1.0%	7.2%
自治会や地域のことにすること	2.3%	1.2%	0.6%	0.8%	2.7%	1.7%
議会の傍聴	0.1%	0.4%	0.0%	0.1%	0.6%	0.3%
仕事上での手続き、調査など	2.7%	1.6%	0.6%	3.0%	1.6%	2.1%
その他	4.5%	2.9%	2.9%	4.1%	3.4%	3.6%
無回答	24.2%	24.7%	36.5%	25.4%	20.9%	24.5%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

【来訪目的の内容】

- 来訪目的で最も多い「住民票、印鑑証明、戸籍に関すること」と回答した方は「手続きのため」と回答しており、必要書類の取得を目的とした来訪といえます。
- 次に、「国民健康保険、国民年金に関すること」、「税金に関すること」、「福祉に関すること」と回答した方は「手続きのため」という回答が多いものの、それぞれ2割程度の方は「相談」を目的として来訪しています。
- 一方、「建築、道路、下水道、公園に関すること」、「防災に関すること」、「自治会や地域のことにすること」を来訪目的としている方は「相談のため」の来訪が多くなっています。

図 12 来訪目的とその内容



【質問 1 と 2 の回答結果を踏まえた考察】

- 多くの人にとって市役所を訪れるのは、全くないか、あっても年に数回程度と言えます。また、その目的として証明書等の受領のためが6割を占め、「用事がなければ訪れない」場所となっていることがうかがえます。
- こうした目的のため、訪れた人の約3分の2が30分以内に用事を済ませています。将来、市役所以外での証明書等の発行が普及した場合、市役所を訪問する人は少なくなるとも考えられます。
- また、高齢化が進行すると年金や福祉に関する手続きや相談が増えることが想定されます。

質問3 あなたは主にどのような手段で市役所を訪れましたか。あてはまるものを1つ選んで、数字を○で囲んでください。(1つ選択)

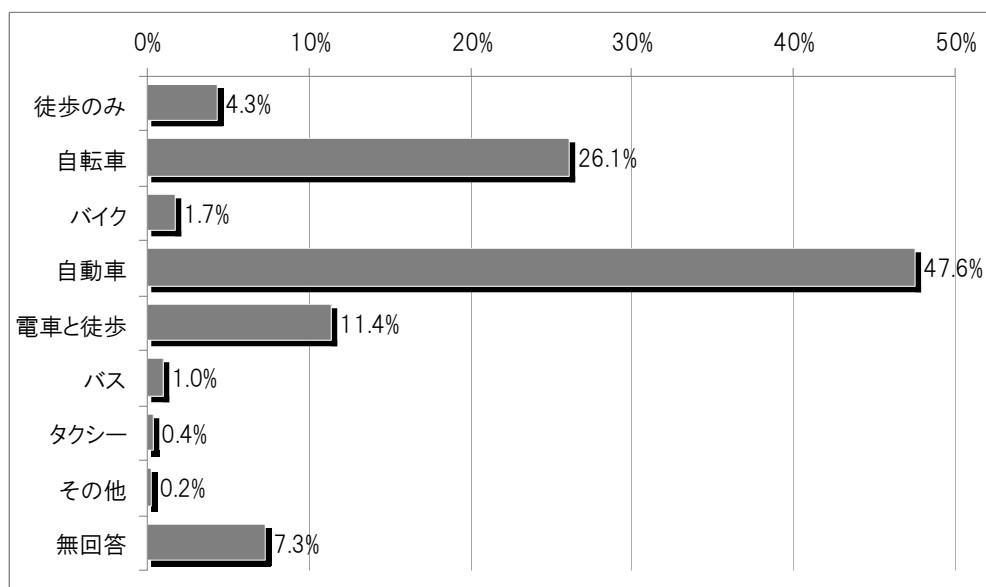
【全体集計】

- 回答者の47.6%が「自動車」を利用しており、「自転車」が26.1%、「電車と徒歩」が11.4%の順となっています。
- 半数近くの方が自動車で、4分の1の方が自転車で来庁しており、駐車場及び駐輪場のニーズが高いものと考えられます。
- 市役所は駅からの回遊軸上にありますが、アンケート結果からは「徒歩」で訪れる人はあまり多くないことがうかがえます。

表 15 市役所への利用交通手段

選 択 肢	回答数	構成比
徒歩のみ	61	4.3%
自転車	372	26.1%
バイク	24	1.7%
自動車	677	47.6%
電車と徒歩	162	11.4%
バス	14	1.0%
タクシー	6	0.4%
その他	3	0.2%
無回答	104	7.3%
合計	1,423	100.0%

図 13 市役所への利用交通手段



【クロス集計】

- 性別による利用交通手段の違いでは、男女とも「自動車」の利用が高いですが、女性は「自転車」と「電車と徒歩」の利用が高くなっています。
- 年齢層別に見ると「20才代以下」では、「自動車」よりも「自転車」の利用が高くなっています。若い世代でマイカーを持たない人が多いことも一因ではないかと考えられます。
- 居住地区別に見た違いでは、新方地区（64.6%）と大相模地区（63.5%）では「自動車」の利用が他の地区に比べて高く、増林地区（42.7%）と出羽地区（40.0%）では「自転車」の利用が他の地区に比べて高くなっています。また、大袋地区では「電車と徒歩」の利用が28.0%と他の地区に比べて高くなっているのが特徴として現れています。

表 16 性別・年齢層別に見た市役所への利用交通手段の割合

選 択 肢	男性	女性	20才代以下	30～50才代	60才代以上
徒歩のみ	4.0%	4.6%	4.0%	4.1%	4.7%
自転車	22.7%	28.7%	36.5%	22.6%	28.1%
バイク	2.7%	0.8%	4.0%	1.5%	1.3%
自動車	52.4%	44.3%	29.4%	56.6%	42.0%
電車と徒歩	9.7%	13.0%	12.7%	9.5%	13.5%
バス	0.8%	1.1%	0.0%	0.6%	1.6%
タクシー	0.3%	0.5%	0.0%	0.2%	0.8%
その他	0.2%	0.3%	0.0%	0.2%	0.3%
無回答	7.2%	6.7%	13.5%	4.7%	7.7%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

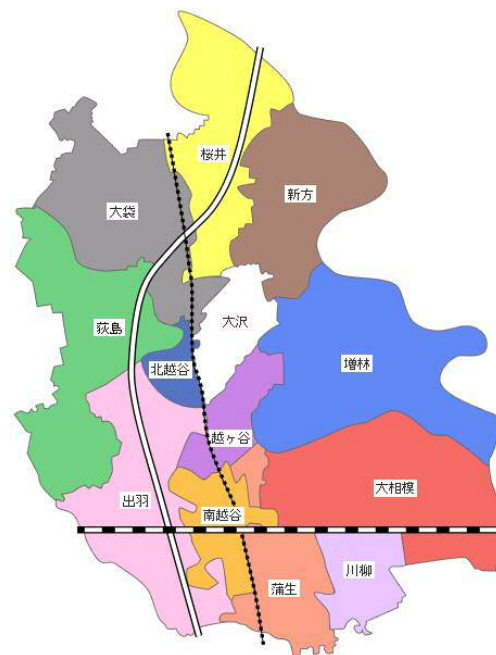


表 17 居住地区別に見た市役所への利用交通手段の割合

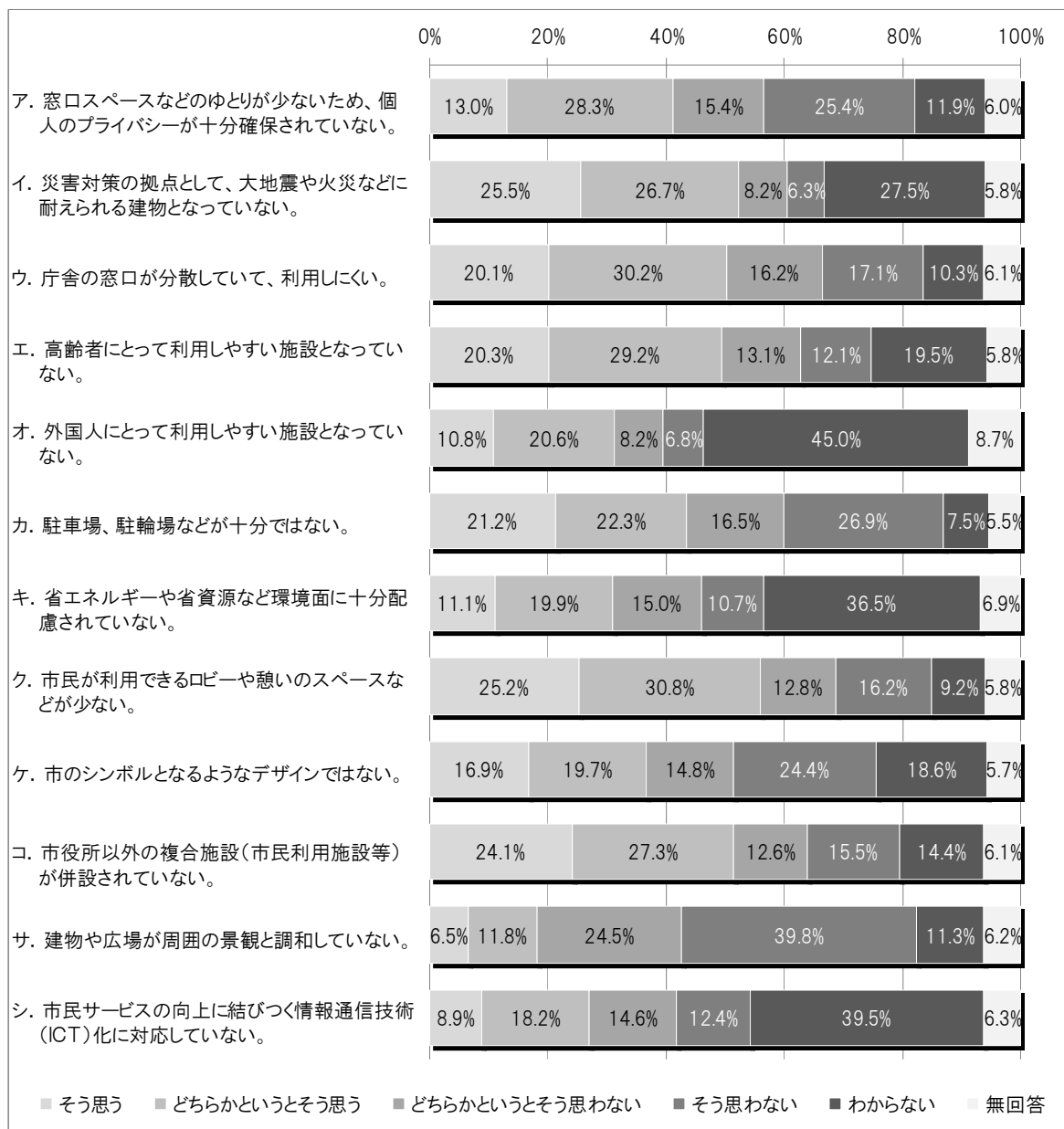
選 択 肢	桜井	新方	増林	大袋	荻島	出羽	蒲生	川柳	大相模	大沢	北越谷	越ヶ谷	南越谷	全体
徒歩のみ	0.0%	0.0%	6.1%	1.0%	3.8%	0.0%	3.1%	0.0%	1.2%	7.1%	5.8%	16.1%	3.3%	4.3%
自転車	10.8%	13.8%	42.7%	8.7%	32.1%	40.0%	28.1%	21.4%	24.7%	33.0%	32.7%	35.8%	31.4%	26.1%
バイク	1.5%	1.5%	2.4%	1.9%	1.9%	1.0%	4.4%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	1.7%	1.7%
自動車	59.2%	64.6%	40.2%	52.2%	47.2%	54.3%	38.1%	53.6%	63.5%	42.9%	46.2%	32.6%	45.5%	47.6%
電車と徒歩	16.9%	10.8%	0.0%	28.0%	5.7%	1.9%	14.4%	10.7%	1.2%	10.7%	7.7%	6.7%	9.9%	11.4%
バス	0.0%	1.5%	1.2%	0.0%	3.8%	0.0%	1.9%	0.0%	3.5%	0.9%	0.0%	1.0%	0.8%	1.0%
タクシー	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.6%	0.8%	0.4%
その他	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%
無回答	10.0%	7.7%	7.3%	8.2%	5.7%	2.9%	9.4%	10.7%	5.9%	5.4%	7.7%	3.6%	6.6%	7.3%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

質問4 あなたは、現在の市本庁舎にどのような課題があると思いますか。下のアからシの項目ごとに、あなたの考えに近いものをそれぞれ1つ選んで、数字を○で囲んでください。

【全体的な現庁舎の課題】

- 現庁舎の課題として、災害対策の拠点、窓口の分散、ロビーなどの広さ等について課題が指摘されています。それに対して、周辺景観との調和については高い評価を得ています。特に災害対策の拠点としての評価は、後の質問で庁舎の理想像として「防災拠点機能を備えた庁舎」が第一位となっていることとも関係していると思われます。

図14 現庁舎の課題（まとめ）



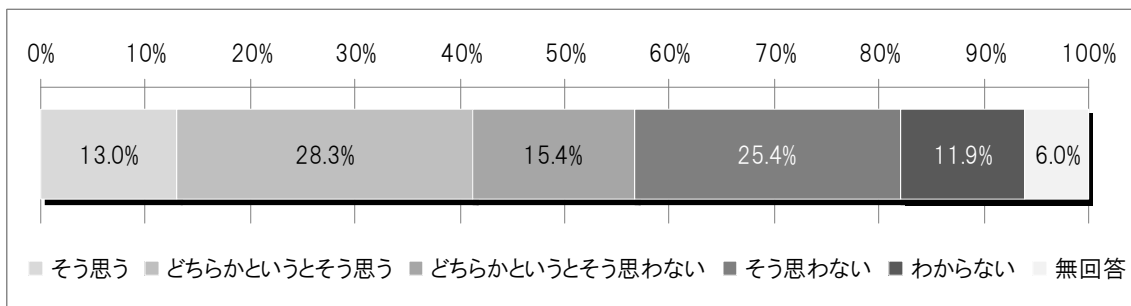
ア. 窓口スペースなどのゆとりが少ないため、個人のプライバシーが十分確保されていない。

- 全体の回答では、「どちらかというと思う」という回答が 28.3%で最も多く、「そう思う」という回答と併せると 41.3%の方々が、窓口において個人のプライバシーが十分に確保されていないと感じているようです。一方、「そう思わない」と回答した方も 25.4%あり、プライバシーの確保については税金や年金、福祉の相談を来訪目的で訪れた方など、その来訪目的により感じ方が変わるものと考えられます。

表 18 窓口におけるプライバシーの確保について

選 択 肢	回答数	構成比
そう思う	185	13.0%
どちらかというと思う	402	28.3%
どちらかというと思わない	219	15.4%
そう思わない	361	25.4%
わからない	170	11.9%
無回答	86	6.0%
合計	1,423	100.0%

図 15 窓口におけるプライバシーの確保について



【クロス集計】

- 性別による回答の違いを見ると、男性は「そう思わない」という回答が多く、女性は「どちらかというと思う」という回答が多くなっています。
- 年齢層別に見ると、30～50才代の方に「どちらかというと思う」という回答が多くなっており、20才代以下では「そう思わない」という回答が多くなっています。
- また、来訪目的と窓口におけるプライバシーの確保についてクロス分析すると、「そう思う」という回答は「環境・ゴミに関すること」が34.2%で特に多く、「どちらかというと思う」という回答では、「自治会や地域のことに関すること」(41.7%)、「学校教育、保育、子育てに関すること」(37.0%)、「税金に関すること」(36.1%)で来訪した人が多くなっており、地域の問題や家庭に関する相談に来た人ほど個人のプライバシーが充分確保されていないと思うようです。

表 19 性別・年齢層別の回答割合

選 択 肢	男性	女性	20才代以下	30～50才代	60才代以上	全体
そう思う	13.2%	12.7%	11.9%	13.9%	12.2%	13.0%
どちらかというと思う	23.2%	32.4%	24.6%	32.5%	24.4%	28.3%
どちらかというと思わない	14.9%	16.1%	15.9%	14.5%	16.6%	15.4%
そう思わない	31.2%	20.7%	19.0%	25.0%	27.2%	25.4%
わからない	11.7%	12.6%	25.4%	10.8%	10.8%	11.9%
無回答	5.8%	5.5%	3.2%	3.2%	8.8%	6.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表 20 来訪目的×窓口におけるプライバシーの確保について

選 択 肢	そう思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	そう思わない	わからない	無回答	合計
住民票、印鑑証明、戸籍に関すること	85	192	111	176	37	27	628
	13.5%	30.6%	17.7%	28.0%	5.9%	4.3%	100.0%
国民健康保険、国民年金に関すること	42	84	43	67	16	15	267
	15.7%	31.5%	16.1%	25.1%	6.0%	5.6%	100.0%
税金に関すること	22	65	34	42	8	9	180
	12.2%	36.1%	18.9%	23.3%	4.4%	5.0%	100.0%
福祉に関すること	25	48	25	37	9	8	152
	16.4%	31.6%	16.4%	24.3%	5.9%	5.3%	100.0%
環境、ゴミに関すること	13	9	4	9	3	0	38
	34.2%	23.7%	10.5%	23.7%	7.9%	0.0%	100.0%
建築、道路、下水道、公園に関すること	3	7	5	6	1	0	22
	13.6%	31.8%	22.7%	27.3%	4.5%	0.0%	100.0%
防災に関すること	2	6	4	4	0	1	17
	11.8%	35.3%	23.5%	23.5%	0.0%	5.9%	100.0%
学校教育、保育、子育てに関すること	26	57	24	35	8	4	154
	16.9%	37.0%	15.6%	22.7%	5.2%	2.6%	100.0%
自治会や地域のことに関すること	5	15	3	8	3	2	36
	13.9%	41.7%	8.3%	22.2%	8.3%	5.6%	100.0%
合計	223	483	253	384	85	66	1,494
	14.9%	32.3%	16.9%	25.7%	5.7%	4.4%	100.0%

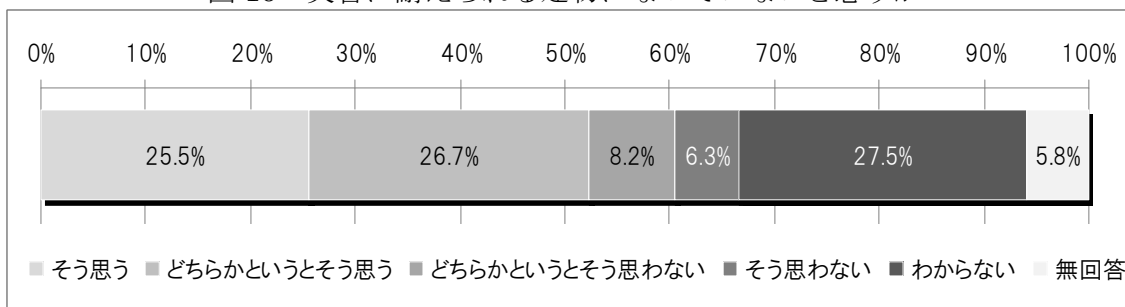
イ. 災害対策の拠点として、大地震や火災などに耐えられる建物となっていない。

- 「そう思う」と「どちらかというと思う」という回答を併せると 52.2%の方が、災害対策の拠点施設として大地震や火災に耐えられない建物と認識しているようです。
- 災害対策の拠点としての評価は、後の質問で庁舎の理想像として「防災拠点機能を備えた庁舎」が第一位となっていることとも関係していると思われます。

表 21 災害に耐えられる建物になっていないと思うか

選 択 肢	回答数	構成比
そう思う	363	25.5%
どちらかというと思う	380	26.7%
どちらかというと思わない	117	8.2%
そう思わない	89	6.3%
わからない	391	27.5%
無回答	83	5.8%
合計	1,423	100.0%

図 16 災害に耐えられる建物になっていないと思うか



【クロス集計】

- 性別による回答の違いを見ると、男性は「どちらかというと思わない」、「そう思わない」という回答が女性よりもやや多くなっています。
- 年齢層別に見ると、30～50才代の方に「どちらかというと思う」という回答が多くなっています。

表 22 性別・年齢層別の回答割合

選 択 肢	男性	女性	20才代以下	30～50才代	60才代以上	全体
そう思う	25.9%	25.8%	23.8%	28.2%	23.5%	25.5%
どちらかというと思う	26.4%	26.4%	21.4%	30.2%	23.8%	26.7%
どちらかというと思わない	9.5%	7.2%	5.6%	7.9%	8.8%	8.2%
そう思わない	7.3%	5.3%	6.3%	7.2%	5.3%	6.3%
わからない	24.2%	30.6%	39.7%	23.2%	30.2%	27.5%
無回答	6.7%	4.6%	3.2%	3.2%	8.4%	5.8%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

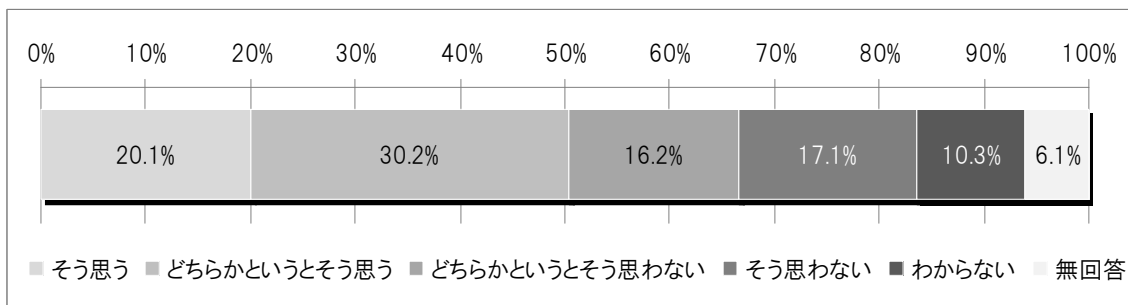
ウ. 庁舎の窓口が分散していて、利用しにくい。

- 「そう思う」と「どちらかというと思う」という回答を併せると 50.3%の方が、庁舎の窓口が分散していて利用しにくいとされています。

表 23 庁舎の窓口が分散していて利用しにくいと思うか

選 択 肢	回答数	構成比
そう思う	286	20.1%
どちらかというと思う	430	30.2%
どちらかというと思わない	231	16.2%
そう思わない	243	17.1%
わからない	146	10.3%
無回答	87	6.1%
合計	1,423	100.0%

図 17 庁舎の窓口が分散していて利用しにくいと思うか



【クロス集計】

- 性別による回答の違いを見ると、女性は男性に比べ「そう思う」という回答がやや多く、男性は「そう思わない」という回答が女性よりもやや多くなっています。女性の場合、小さな子供を連れて来訪する場合も多いと考えられることからこのような回答の差異が生じていると考えられます。
- 年齢層別に見ると、20才代以下の方に「そう思う」という回答が多く、30～50才代の方に「どちらかというと思う」という回答が多くなっています。20才代以下の方は、来訪回数が少ないことから目的の場所がどこにあるか判らないことが考えられます。また、30～50才代の方の場合は来訪機会が多くなるためこのような回答の差異が生じているものと考えられます。

表 24 性別・年齢層別の回答割合

選 択 肢	男性	女性	20才代以下	30～50才代	60才代以上	全体
そう思う	18.0%	21.3%	26.2%	20.6%	18.3%	20.1%
どちらかというと思う	29.9%	30.7%	20.6%	33.6%	28.6%	30.2%
どちらかというと思わない	15.4%	17.5%	15.9%	17.4%	15.4%	16.2%
そう思わない	20.0%	14.7%	12.7%	14.8%	20.6%	17.1%
わからない	10.5%	10.2%	21.4%	10.1%	8.4%	10.3%
無回答	6.2%	5.5%	3.2%	3.5%	8.7%	6.1%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

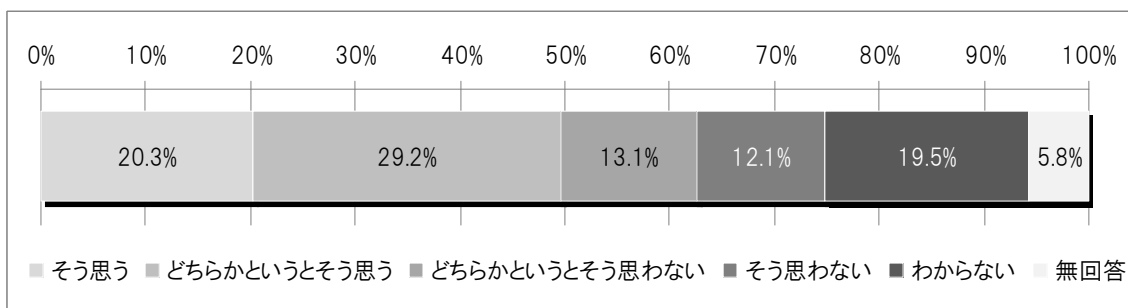
エ. 高齢者にとって利用しやすい施設となっていない。

- 「そう思う」と「どちらかというと思う」という回答を併せると 49.5%の方が、高齢者にとって利用しやすい施設となっていないとされています。

表 25 高齢者にとって利用しやすい施設となっていないと思うか

選 択 肢	回答数	構成比
そう思う	289	20.3%
どちらかというと思う	416	29.2%
どちらかというと思わない	187	13.1%
そう思わない	172	12.1%
わからない	277	19.5%
無回答	82	5.8%
合計	1,423	100.0%

図 18 高齢者にとって利用しやすい施設となっていないと思うか



【クロス集計】

- 性別による回答の違いを見ると、女性は男性に比べ「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」という回答がやや多く、男性は「そう思わない」、「どちらかといえばそう思わない」という回答が女性よりもやや多くなっています。
- 年齢層別に見ると、60才代以上の方は50才代以下の年齢層の方に比べ、「そう思う」という回答が少なく、「そう思わない」という回答が多くなっています。この背景としては、世代間によりバリアフリーやユニバーサルデザインについての情報や知識に差があるためではないかと考えられます。

表 26 性別・年齢層別の回答割合

選 択 肢	男性	女性	20才代以下	30~50才代	60才代以上	全体
そう思う	18.2%	22.4%	23.0%	22.6%	17.8%	20.3%
どちらかというと思う	28.2%	30.1%	19.8%	30.4%	29.9%	29.2%
どちらかというと思わない	14.9%	11.9%	9.5%	11.1%	16.1%	13.1%
そう思わない	13.0%	10.8%	7.9%	9.9%	15.1%	12.1%
わからない	19.9%	19.7%	35.7%	22.6%	13.2%	19.5%
無回答	5.8%	5.1%	4.0%	3.4%	7.9%	5.8%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

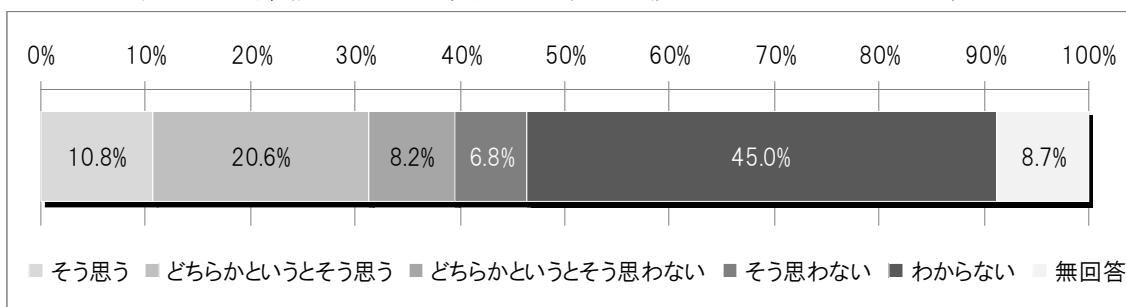
オ. 外国人にとって利用しやすい施設となっていない。

- 他の回答と比べると「わからない」という回答が 45.0%と最も多くなっています。これは外国人の立場にならないと判断ができないという回答に読み替えることができると考えられます。
- 「わからない」を除く回答では、「どちらかというと思う」という回答が 20.6%、「そう思う」という回答が 10.8%と多くなっています。

表 27 外国人にとって利用しやすい施設となっていないと思うか

選 択 肢	回答数	構成比
そう思う	153	10.8%
どちらかというと思う	293	20.6%
どちらかというと思わない	116	8.2%
そう思わない	97	6.8%
わからない	640	45.0%
無回答	124	8.7%
合計	1,423	100.0%

図 19 外国人にとって利用しやすい施設となっていないと思うか



【クロス集計】

- 性別による回答の違いはそれほどありません。
- 年齢層別に見ると、20才代以下の方に「そう思う」という回答が多く、30～50才代の方に「どちらかというと思う」という回答が多くなっています。若い世代の方々の方が外国人と接する機会が多いためではないかと考えられます。

表 28 性別・年齢層別の回答割合

選 択 肢	男性	女性	20才代以下	30～50才代	60才代以上	全体
そう思う	9.8%	11.6%	17.5%	13.4%	6.6%	10.8%
どちらかというと思う	19.2%	22.1%	17.5%	27.6%	14.0%	20.6%
どちらかというと思わない	9.8%	7.1%	8.7%	8.4%	7.9%	8.2%
そう思わない	8.3%	5.5%	7.9%	6.4%	6.9%	6.8%
わからない	42.9%	46.8%	44.4%	40.6%	50.3%	45.0%
無回答	9.8%	7.0%	4.0%	3.5%	14.3%	8.7%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

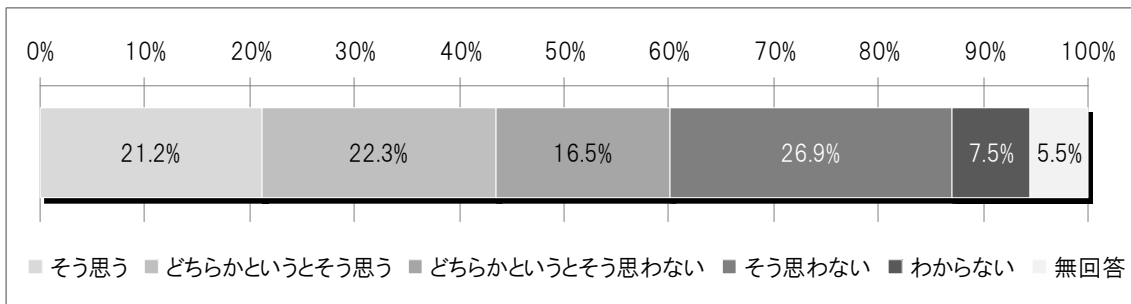
カ. 駐車場、駐輪場などが十分ではない。

- 「そう思う」と「どちらかというと思う」という回答を併せると 43.5%の方が、駐車場、駐輪場などが「十分ではない」と回答している反面、「どちらかというと思わない」と「そう思わない」という回答も併せると 43.4%となり、十分ではないと思う方々と、そうは思わないという方々の回答がほぼ近い割合を示しています。

表 29 駐車場、駐輪場などが十分ではないと思うか

選 択 肢	回答数	構成比
そう思う	302	21.2%
どちらかというと思う	318	22.3%
どちらかというと思わない	235	16.5%
そう思わない	383	26.9%
わからない	107	7.5%
無回答	78	5.5%
合計	1,423	100.0%

図 20 駐車場、駐輪場などが十分ではないと思うか



【クロス集計】

- 性別による回答の違いを見ると、男性は「そう思う」という回答が女性に比べて多くなっています。
- 年齢層別に見ると、20才代以下では「そう思わない」という回答が他の年齢層に比べて多くなっています。これは20才代以下の方の来訪手段が、「自転車」の利用が高く「自動車」の利用が低くなっていることによるものと考えられます。
- また、来訪手段と駐車場・駐輪場などが十分ではないかについてクロス分析すると、自動車を利用している方の49.8%が「そう思う」、「どちらかというと思う」と回答しています。

表 30 性別・年齢層別の回答割合

選 択 肢	男性	女性	20才代以下	30~50才代	60才代以上	全体
そう思う	25.7%	17.7%	19.0%	22.6%	20.4%	21.2%
どちらかというと思う	21.0%	23.4%	16.7%	24.3%	21.2%	22.3%
どちらかというと思わない	14.5%	18.4%	17.5%	18.8%	14.3%	16.5%
そう思わない	27.5%	26.4%	32.5%	26.6%	26.4%	26.9%
わからない	5.7%	9.3%	11.1%	5.2%	9.5%	7.5%
無回答	5.5%	4.8%	3.2%	2.6%	8.2%	5.5%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表 31 来訪手段×駐車場・駐輪場等が十分ではないと思うか

選 択 肢	そう思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	そう思わない	わからない	無回答	合計
徒歩のみ	7	10	12	22	9	1	61
	11.5%	16.4%	19.7%	36.1%	14.8%	1.6%	100.0%
自転車	67	80	69	114	23	19	372
	18.0%	21.5%	18.5%	30.6%	6.2%	5.1%	100.0%
バイク	6	6	1	10	1	0	24
	25.0%	25.0%	4.2%	41.7%	4.2%	0.0%	100.0%
自動車	169	168	122	184	13	21	677
	25.0%	24.8%	18.0%	27.2%	1.9%	3.1%	100.0%
電車と徒歩	28	38	20	32	36	8	162
	17.3%	23.5%	12.3%	19.8%	22.2%	4.9%	100.0%
バス	1	2	3	5	3	0	14
	7.1%	14.3%	21.4%	35.7%	21.4%	0.0%	100.0%
タクシー	0	1	0	1	3	1	6
	0.0%	16.7%	0.0%	16.7%	50.0%	16.7%	100.0%
その他	2	1	0	0	0	0	3
	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
無回答	22	12	8	15	19	28	104
	21.2%	11.5%	7.7%	14.4%	18.3%	26.9%	100.0%
合計	302	318	235	383	107	78	1,423
	21.2%	22.3%	16.5%	26.9%	7.5%	5.5%	100.0%

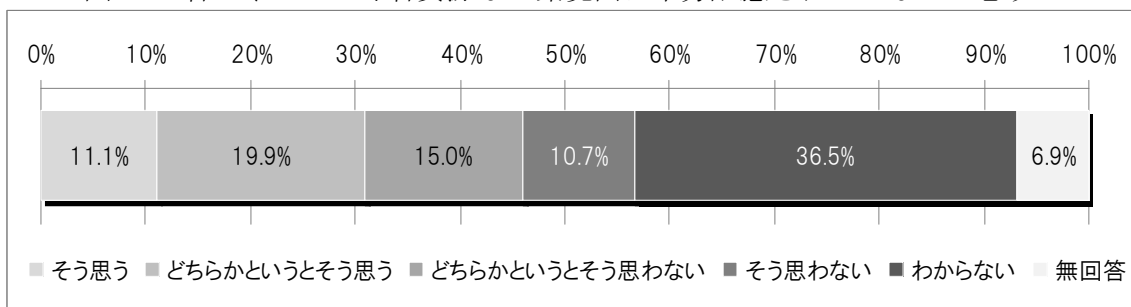
キ. 省エネルギーや省資源など環境面に十分配慮されていない。

- 他の回答と比べると「わからない」という回答が 36.5%と多くなっています。これは、実際のところ市役所の省エネルギーや省資源などの環境面がどのようになっているのか、市民の方は知らないことによるためと考えられます。
- 「わからない」を除く回答では、「どちらかというと思う」という回答が 19.9%と多くなっています。

表 32 省エネルギーや省資源など環境面に十分配慮されていないと思うか

選 択 肢	回答数	構成比
そう思う	158	11.1%
どちらかというと思う	283	19.9%
どちらかというと思わない	213	15.0%
そう思わない	152	10.7%
わからない	519	36.5%
無回答	98	6.9%
合計	1,423	100.0%

図 21 省エネルギーや省資源など環境面に十分配慮されていないと思うか



【クロス集計】

- 性別による回答の違いを見ると、男性は「そう思う」という回答が女性に比べて多くなっています。
- 年齢層別に見ると、20才代以下では「そう思う」という回答が他の年齢層に比べて少なくなっているとともに「わからない」が多くなっています。若い世代はこの質問への回答が難しい面があるとも考えられます。

表 33 性別・年齢層別の回答割合

選 択 肢	男性	女性	20才代以下	30~50才代	60才代以上	全体
そう思う	14.0%	8.8%	4.0%	13.1%	10.3%	11.1%
どちらかというと思う	20.4%	19.4%	17.5%	19.8%	20.4%	19.9%
どちらかというと思わない	15.4%	14.7%	16.7%	16.5%	12.9%	15.0%
そう思わない	11.7%	10.0%	10.3%	9.5%	12.2%	10.7%
わからない	31.6%	40.8%	48.4%	37.6%	33.8%	36.5%
無回答	7.0%	6.2%	3.2%	3.5%	10.5%	6.9%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

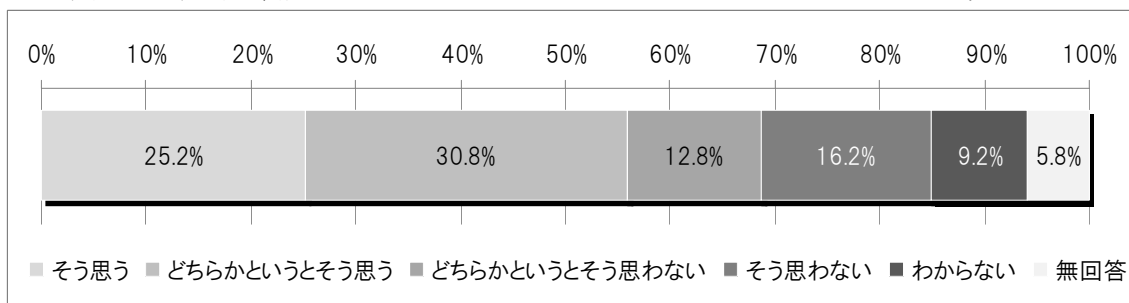
ク. 市民が利用できるロビーや憩いのスペースなどが少ない。

- 「そう思う」と「どちらかというと思う」という回答を併せると 56.0%の方が、市民が利用できるロビーや憩いのスペースなどが少ないと回答しています。

表 34 市民が利用できるロビーや憩いのスペースなどが少ないと思うか

選 択 肢	回答数	構成比
そう思う	358	25.2%
どちらかというと思う	438	30.8%
どちらかというと思わない	182	12.8%
そう思わない	231	16.2%
わからない	131	9.2%
無回答	83	5.8%
合計	1,423	100.0%

図 22 市民が利用できるロビーや憩いのスペースなどが少ないと思うか



【クロス集計】

- 性別による回答の違いを見ると、男性は「そう思わない」という回答が女性に比べてやや多くなっている程度で、それ程大きな差異は見られません。
- 年齢層別による違いでは、30～50才代で「どちらかというと思う」という回答が多くなっています。これはこの年齢層が子供連れで市役所を訪れたり、地域活動などで活動する場を求めたりしているためではないかと考えられます。

表 35 性別・年齢層別の回答割合

選 択 肢	男性	女性	20才代以下	30～50才代	60才代以上	全体
そう思う	24.2%	25.8%	21.4%	25.6%	25.2%	25.2%
どちらかというと思う	29.5%	32.1%	27.0%	34.5%	28.0%	30.8%
どちらかというと思わない	12.2%	13.3%	13.5%	13.6%	11.7%	12.8%
そう思わない	18.2%	14.9%	18.3%	13.7%	18.8%	16.2%
わからない	9.8%	8.9%	16.7%	9.5%	7.7%	9.2%
無回答	6.0%	5.0%	3.2%	3.1%	8.5%	5.8%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

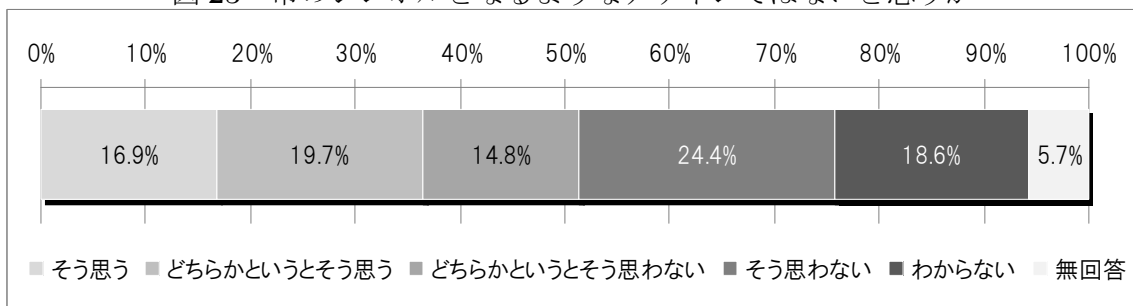
ケ. 市のシンボルとなるようなデザインではない。

- 「そう思わない」という回答が 24.4%で最も多く、「どちらかというと思わない」という回答と併せると 39.2%となり「そう思う」「どちらかというと思おう」の 36.6%を上回り、市のシンボルとなるようなデザインと認識しているようです。

表 36 市のシンボルとなるようなデザインではないと思うか

選 択 肢	回答数	構成比
そう思う	240	16.9%
どちらかというと思おう	280	19.7%
どちらかというと思わない	210	14.8%
そう思わない	347	24.4%
わからない	265	18.6%
無回答	81	5.7%
合計	1,423	100.0%

図 23 市のシンボルとなるようなデザインではないと思うか



【クロス集計】

- 性別による回答の違いを見ると、男性は「そう思わない」という回答が女性に比べてやや多く、女性は「どちらかというと思おう」という回答がやや多くなっています。
- 年齢層別による違いでは、20才代以下では「そう思う」という回答と、「そう思わない」という回答がそれぞれ他の年齢層に比べて多く、デザインに対する評価は大きく分かれています。

表 37 性別・年齢層別の回答割合

選 択 肢	男性	女性	20才代以下	30～50才代	60才代以上	全体
そう思う	17.5%	16.5%	23.8%	19.2%	13.2%	16.9%
どちらかというと思おう	17.5%	21.2%	12.7%	19.8%	20.6%	19.7%
どちらかというと思わない	13.9%	15.5%	12.7%	15.7%	14.1%	14.8%
そう思わない	27.2%	22.4%	27.8%	24.6%	24.1%	24.4%
わからない	17.5%	19.8%	19.8%	17.7%	19.6%	18.6%
無回答	6.3%	4.6%	3.2%	2.9%	8.4%	5.7%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

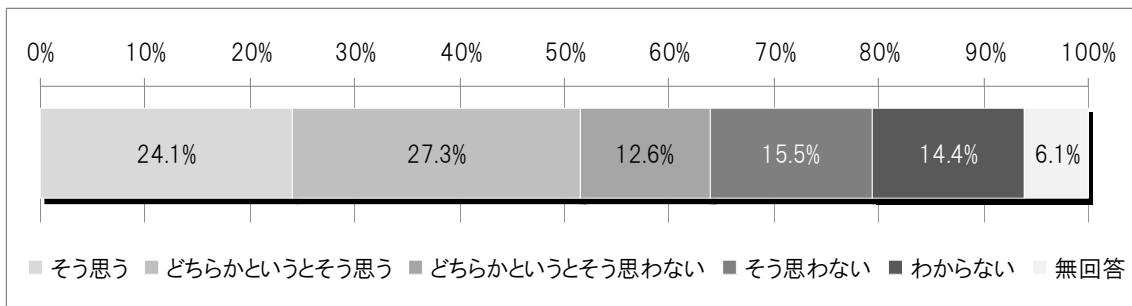
コ. 市役所以外の複合施設（市民利用施設等）が併設されていない。

- 「そう思う」と「どちらかというと思う」という回答を併せると 51.4%の方が、市役所以外の複合施設（市民利用施設等）が併設されていないと回答しています

表 38 市役所以外の複合施設（市民利用施設等）が併設されていないと思うか

選 択 肢	回答数	構成比
そう思う	343	24.1%
どちらかというと思う	389	27.3%
どちらかというと思わない	179	12.6%
そう思わない	220	15.5%
わからない	205	14.4%
無回答	87	6.1%
合計	1,423	100.0%

図 24 市役所以外の複合施設（市民利用施設等）が併設されていないと思うか



【クロス集計】

- 性別による回答の違いを見ると、男性は「そう思わない」という回答が女性に比べてやや多い程度で、それ程大きな差異は見られません。
- 年齢層別による違いでは、30～50才代で「どちらかというと思う」という回答が多くなっています。これは、質問クの「市民が利用できるロビーや憩いのスペースなどが少ないと思うか」という回答と同様の傾向であり、この年齢層におけるニーズが高いと考えられます。

表 39 性別・年齢層別の回答割合

選 択 肢	男性	女性	20才代以下	30～50才代	60才代以上	全体
そう思う	22.5%	25.7%	26.2%	26.9%	21.1%	24.1%
どちらかというと思う	27.0%	27.4%	18.3%	30.1%	26.0%	27.3%
どちらかというと思わない	11.7%	13.6%	11.9%	13.6%	12.1%	12.6%
そう思わない	17.7%	13.3%	15.9%	13.6%	17.4%	15.5%
わからない	14.4%	14.9%	24.6%	12.7%	14.5%	14.4%
無回答	6.7%	5.1%	3.2%	3.2%	9.0%	6.1%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

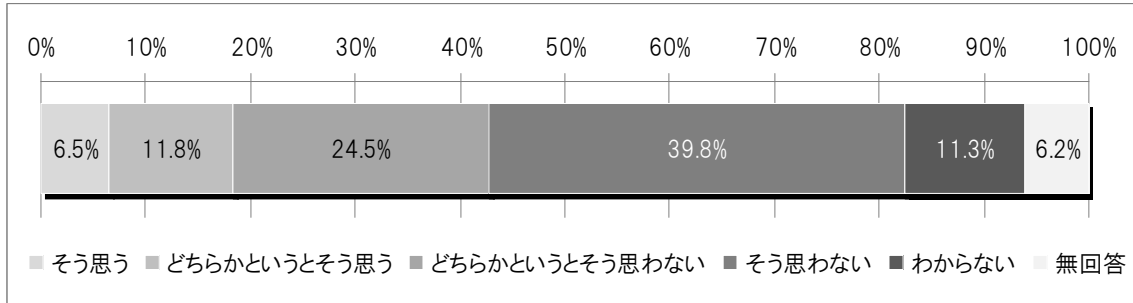
サ. 建物や広場が周囲の景観と調和していない。

- 「そう思わない」という回答が 39.8%で最も多く、周囲の景観と市役所の建物や広場は調和していると思う方が多くを占めています。

表 40 建物や広場が周囲の景観と調和していないと思うか

選 択 肢	回答数	構成比
そう思う	92	6.5%
どちらかというと思う	168	11.8%
どちらかというと思わない	348	24.5%
そう思わない	566	39.8%
わからない	161	11.3%
無回答	88	6.2%
合計	1,423	100.0%

図 25 建物や広場が周囲の景観と調和していないと思うか



【クロス集計】

- 性別、年齢層別による回答の違いはそれほどありません。

表 41 性別・年齢層別の回答割合

選 択 肢	男性	女性	20才代以下	30~50才代	60才代以上	全体
そう思う	6.5%	6.4%	5.6%	5.8%	7.4%	6.5%
どちらかというと思う	13.2%	10.5%	7.9%	9.9%	14.0%	11.8%
どちらかというと思わない	24.4%	25.0%	23.0%	29.5%	19.8%	24.5%
そう思わない	39.9%	39.6%	43.7%	42.1%	37.1%	39.8%
わからない	9.5%	13.1%	16.7%	9.3%	12.7%	11.3%
無回答	6.5%	5.3%	3.2%	3.4%	9.0%	6.2%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

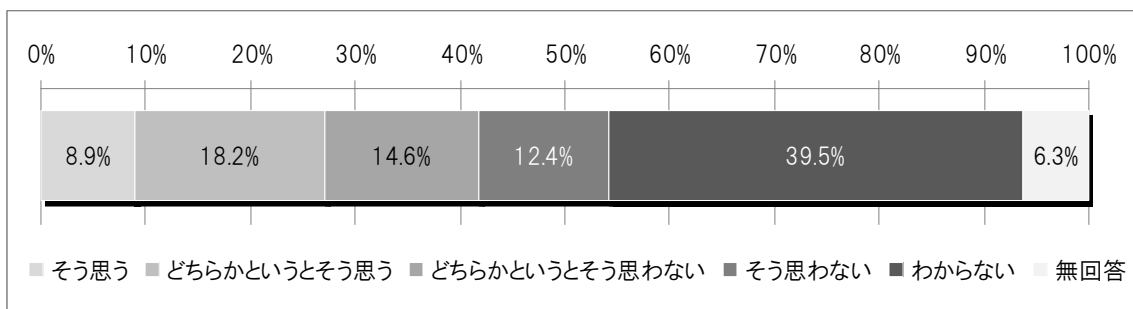
シ. 市民サービスの向上に結びつく情報通信技術（ICT）化に対応していない。

- 他の回答と比べると「わからない」という回答が 39.5%と多くなっています。これは、実際のところ市民サービスの向上に結びつく情報通信技術（ICT）化がどうなっているのか、どのような情報通信技術（ICT）化が市民サービスの向上に結びつくものかが良くわからないためと考えられます。
- また、今回の回答者の属性からも比較的に高齢者の方の回答が多く、情報通信技術（ICT）化への対応と聞かれても理解しにくい面があったのではないかと考えられます。
- 「わからない」を除く回答では、「どちらかというと思う」という回答が 18.2%と多くなっています。

表 42 市民サービスの向上に結びつく情報通信技術（ICT）化に対応していないと思うか

選 択 肢	回答数	構成比
そう思う	127	8.9%
どちらかというと思う	259	18.2%
どちらかというと思わない	208	14.6%
そう思わない	177	12.4%
わからない	562	39.5%
無回答	90	6.3%
合計	1,423	100.0%

図 26 市民サービスの向上に結びつく情報通信技術（ICT）化に対応していないと思うか



【クロス集計】

- 性別による回答の違いを見ると、男性は女性に比べて「そう思う」、「どちらかというと思う」という回答が多くなっています。これは、男性の方が情報通信技術（ICT）に対する情報量が多いためではないかと考えられます。
- 年齢層別による違いでは、20才代以下では「そう思う」という回答が他の年齢層に比べて多くなっており、性別による違いと同様に20才代以下の方の情報通信技術（ICT）に対する情報量が多いためではないかと考えられます。

表 43 性別・年齢層別の回答割合

選 択 肢	男性	女性	20才代以下	30～50才代	60才代以上	全体
そう思う	11.7%	7.0%	13.5%	9.6%	7.4%	8.9%
どちらかというと思う	20.7%	16.4%	15.9%	20.9%	15.9%	18.2%
どちらかというと思わない	14.9%	14.2%	15.1%	16.9%	12.1%	14.6%
そう思わない	12.7%	12.1%	8.7%	11.5%	14.1%	12.4%
わからない	33.6%	44.7%	43.7%	37.6%	41.3%	39.5%
無回答	6.5%	5.6%	3.2%	3.5%	9.2%	6.3%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

庁舎の機能に関する質問

質問5 あなたはどのような市庁舎が理想だと思いますか。あなたの思い描く市庁舎像に近い考えを次の中から選んで、数字を○で囲んでください。（3つまで選択）

- 理想とする市庁舎像としては、「防災拠点機能を備えた庁舎」（22.5%）が「機能性・効率性の高い庁舎」（21.4%）をやや上回り第一位となっています。これは、竜巻被害や、東日本大震災の印象が強かったことが考えられます。次の質問で、「市庁舎がまちづくりにおいて果たす役割」で「災害時の情報収集、情報発信の拠点となること」が第一位となっていることとも整合します。
- また他市では比較的高い割合となる「環境にやさしい庁舎」が低位になっているのが目立ちます。これは、現庁舎が豊かな自然に恵まれた位置にあることと関連があると考えられます。
- 同じ質問で「市民に親しまれ、まちづくりの拠点となる庁舎」が第三位となっています。しかし次の質問での「中心市街地等と一体となって、買い物客等の回遊性を刺激するイベントの会場となること」への評価は低く、「さまざまな市民活動の拠点としての役割を果たすこと」への評価が2位となっていることから、『地理的な拠点』というよりも『活動の拠点』という意味合いが強いと考えられます。

図 27 理想とする市庁舎像（複数回答）

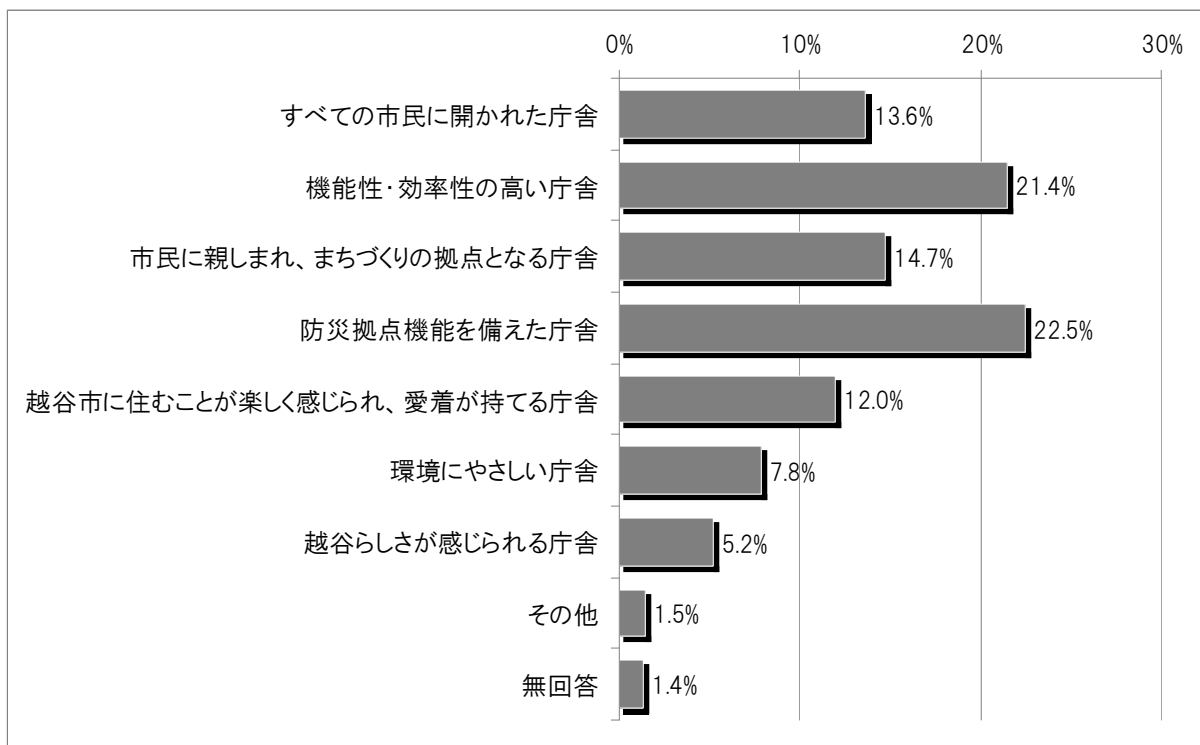


表 44 理想とする市庁舎像（複数回答）

選 択 肢	回答数	構成比
すべての市民に開かれた庁舎	504	13.6%
機能性・効率性の高い庁舎	796	21.4%
市民に親しまれ、まちづくりの拠点となる庁舎	547	14.7%
防災拠点機能を備えた庁舎	834	22.5%
越谷市に住むことが楽しく感じられ、愛着が持てる庁舎	445	12.0%
環境にやさしい庁舎	290	7.8%
越谷らしさが感じられる庁舎	192	5.2%
その他	55	1.5%
無回答	51	1.4%
合計	3,714	100.0%

【クロス集計】

- 性別による回答の違いはそれほどありません。
- 質問5に関しては、回答者の年代に偏りがあることから、「年代別」の理想像の違いをクロス分析及び対応分析（コレスポンデンス分析）による考察も行いました。
- クロス分析や対応分析の結果、以下の傾向が見られます。
- 全世代を通じて、「防災拠点機能を備えた庁舎（以下、「防災）」、「機能性・効率性の高い庁舎（以下、「機能性・効率性）」を志向する傾向が高くなっています。
- 10才代は、他の世代と比較して「環境にやさしい庁舎」、「すべての市民に開かれた庁舎」を志向する傾向が強く、これらは、最近の環境・社会教育の充実等によるものと考えられます。現況庁舎に対する評価が他の世代と比較して厳しいこともその現れと考えられます。
- 20～50才代は、「防災」、「機能性・効率性」への志向が相当高くなっています。次に、「市民に親しまれ、まちづくりの拠点となる庁舎」、「すべての市民に開かれた庁舎」を志向しています。これらの世代に顕著な差異はありませんが、年代が上がるにつれて機能性・効率性を重視する傾向が若干現れています。これは、現役世代は、時間に対する価値観が高いことや費用に対する意識も高いことが影響している可能性があります。
- 60才代は、20～50才代と同様に、「防災」、「機能性・効率性」への志向が相当高くなっています。しかし、次第に郷土愛の高まりから「越谷市に住むことが楽しく感じられ、愛着が持てる庁舎」を志向する傾向が見られます。
- 70才以上は、「防災」、「機能性・効率性」への志向が高いですが、他の世代と比較して、「越谷らしさが感じられる庁舎」を求める傾向が強くなっています。これは、地域の固有性の大切さの認識や郷土愛の熟成によるものと考えられます。
- また、防災拠点機能を備えた庁舎を選んだ方の現在の庁舎に対する災害対策拠点としての評価を見ると、「災害対策の拠点として大地震や火災などに耐えられる建物となっていない」と思う方が32.4%を占めています。

表 45 性別・年齢層別の回答割合

選 択 肢	男性	女性	20才代以下	30～50才代	60才代以上	全体
すべての市民に開かれた庁舎	12.5%	14.1%	12.6%	13.5%	13.8%	13.6%
機能性・効率性の高い庁舎	21.9%	21.5%	23.4%	24.2%	18.4%	21.4%
市民に親しまれ、まちづくりの拠点となる庁舎	14.1%	15.0%	14.8%	13.2%	16.2%	14.7%
防災拠点機能を備えた庁舎	22.6%	22.6%	22.8%	22.6%	22.5%	22.5%
越谷市に住むことが楽しく感じられ、愛着が持てる庁舎	12.3%	11.6%	10.8%	11.2%	13.0%	12.0%
環境にやさしい庁舎	7.9%	8.0%	9.5%	7.7%	7.8%	7.8%
越谷らしさを感じられる庁舎	5.7%	4.9%	4.6%	4.8%	5.7%	5.2%
その他	1.8%	1.2%	1.2%	1.9%	1.0%	1.5%
無回答	1.2%	1.2%	0.3%	0.9%	1.7%	1.4%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表 46 防災拠点機能を備えた庁舎を選んだ方の現在の庁舎に対する災害対策拠点としての評価

イ. 災害対策の拠点として、大地震や火災などに耐えられる建物とっていない。

選 択 肢	そう思う	どちらかとい うとそう思う	どちらかとい うとそう思わ ない	そう思わない	わからない	無回答	合計
防災拠点機能を備えた庁舎	270	247	53	31	215	18	834
	32.4%	29.6%	6.4%	3.7%	25.8%	2.2%	100.0%

質問6 市庁舎が市のまちづくりにおいて果たす役割について、あなたが重要視することは何ですか。次の中から選んで、数字を○で囲んでください。(3つまで選択)

- 市庁舎がまちづくりに果たす役割で重要視することでは、「災害時の情報収集、情報発信の拠点となること」(28.3%)が他を引き離して第一位となっています。被災時の市民への情報収集・発信としての機能が特に期待されています。後の質問でも、今後庁舎に必要と考えられる新たな機能について「災害発生時等に対応できる機能」がさらに高い回答となっています。

図 28 市庁舎の果たす役割について重要視すること (複数回答)

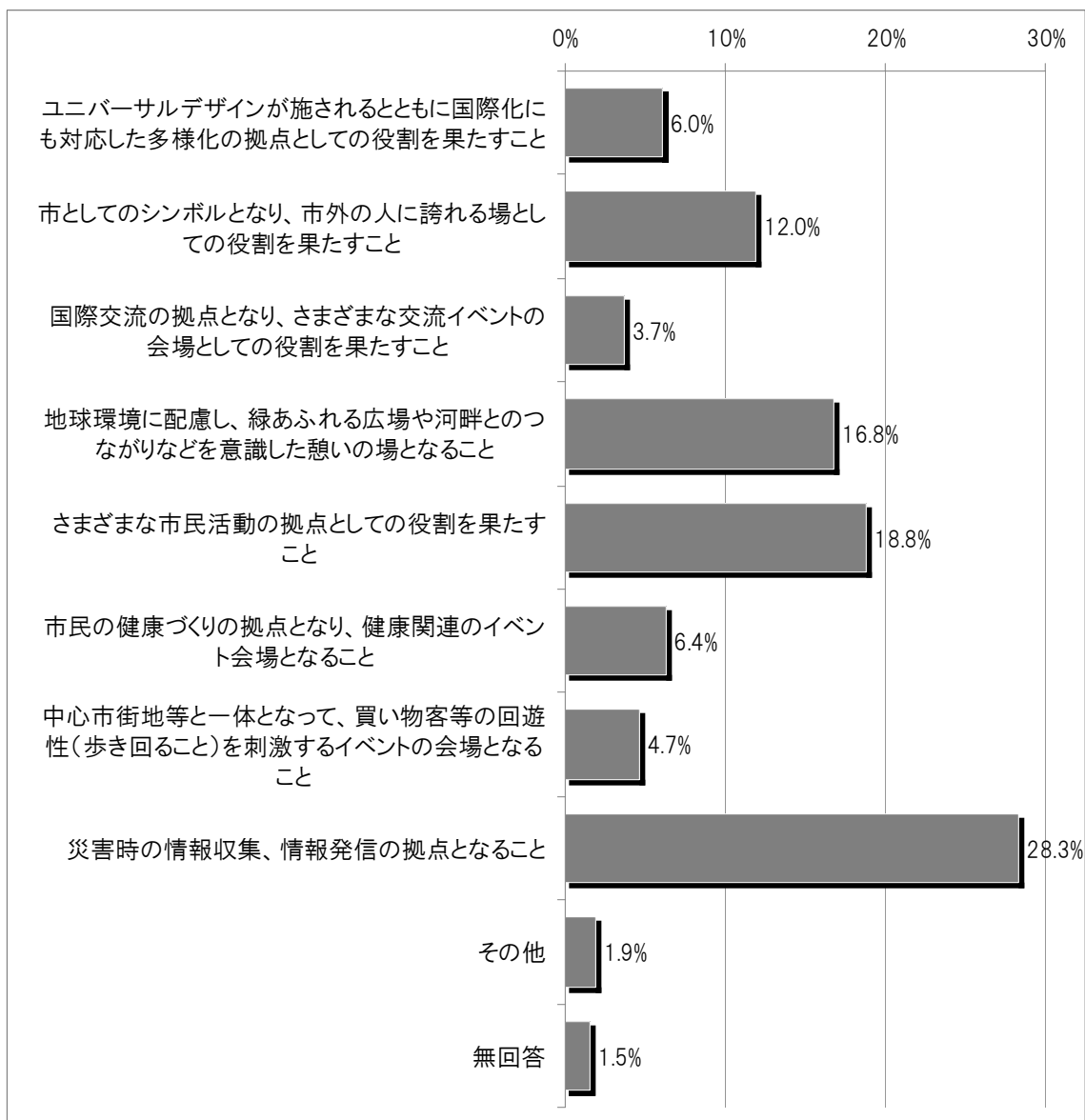


表 47 市庁舎の果たす役割について重要視すること（複数回答）

選 択 肢	回答数	構成比
ユニバーサルデザインが施されるとともに国際化にも対応した多様化の拠点としての役割を果たすこと	214	6.0%
市としてのシンボルとなり、市外の人に誇れる場としての役割を果たすこと	425	12.0%
国際交流の拠点となり、さまざまな交流イベントの会場としての役割を果たすこと	130	3.7%
地球環境に配慮し、緑あふれる広場や河畔とのつながりなどを意識した憩いの場となること	597	16.8%
さまざまな市民活動の拠点としての役割を果たすこと	669	18.8%
市民の健康づくりの拠点となり、健康関連のイベント会場となること	226	6.4%
中心市街地等と一体となって、買い物客等の回遊性（歩き回ることを刺激するイベントの会場となること	166	4.7%
災害時の情報収集、情報発信の拠点となること	1,005	28.3%
その他	67	1.9%
無回答	55	1.5%
合計	3,554	100.0%

【クロス集計】

- 性別による回答の違いはそれほどありません。
- 年齢層別による違いでは、20才代以下では他の年齢層に比べ、「ユニバーサルデザインや国際化に対応した多様化の拠点としての役割」や「国際交流の拠点となり、さまざまな交流イベントの会場としての役割」を果たすことを重視した回答が多くなっています。20才代以下では、社会経済の背景を踏まえ、グローバル化の時代に対応した役割を果たすことを重視しているようです。
- 30才代以上では、「地球環境に配慮し、緑あふれる広場や河畔とのつながりなどを意識した憩いの場となること」を重視した回答が多くなっています。年齢層が高まるほど自然環境や景観との調和を意識する傾向が見受けられます。

表 48 性別・年齢層別の回答割合

選 択 肢	男性	女性	20才代以下	30～50才代	60才代以上	全体
ユニバーサルデザインが施されるとともに国際化にも対応した多様化の拠点としての役割を果たすこと	6.6%	5.6%	9.3%	7.2%	4.2%	6.0%
市としてのシンボルとなり、市外の人に誇れる場としての役割を果たすこと	12.0%	12.1%	11.3%	10.6%	13.5%	12.0%
国際交流の拠点となり、さまざまな交流イベントの会場としての役割を果たすこと	4.0%	3.3%	6.0%	3.2%	3.7%	3.7%
地球環境に配慮し、緑あふれる広場や河畔とのつながりなどを意識した憩いの場となること	17.5%	16.5%	12.6%	16.9%	17.6%	16.8%
さまざまな市民活動の拠点としての役割を果たすこと	19.0%	18.8%	17.3%	20.0%	18.0%	18.8%
市民の健康づくりの拠点となり、健康関連のイベント会場となること	6.4%	6.1%	7.6%	5.0%	7.6%	6.4%
中心市街地等と一体となって、買い物客等の回遊性（歩き回ること）を刺激するイベントの会場となること	5.4%	4.2%	7.3%	4.7%	4.2%	4.7%
災害時の情報収集、情報発信の拠点となること	26.1%	30.0%	25.6%	29.2%	27.9%	28.3%
その他	1.6%	2.1%	2.3%	2.1%	1.5%	1.9%
無回答	1.4%	1.2%	0.7%	1.0%	1.8%	1.5%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

質問7 今後、庁舎に必要と考えられる新たな機能について、あなたの考え方に近いものを次の中から選んで、数字を○で囲んでください。（3つまで選択）

- 市庁舎に必要と考えられる新たな機能については、「災害発生時等に対応できる機能（避難者受入れや物資の受入れスペース）」が33.6%で最も多く、次いで「来庁者等の利便性向上に寄与する機能（食堂や喫茶コーナー、コンビニエンスストア等）」（22.2%）の順となっています。

図 29 市庁舎に必要と考えられる新たな機能について

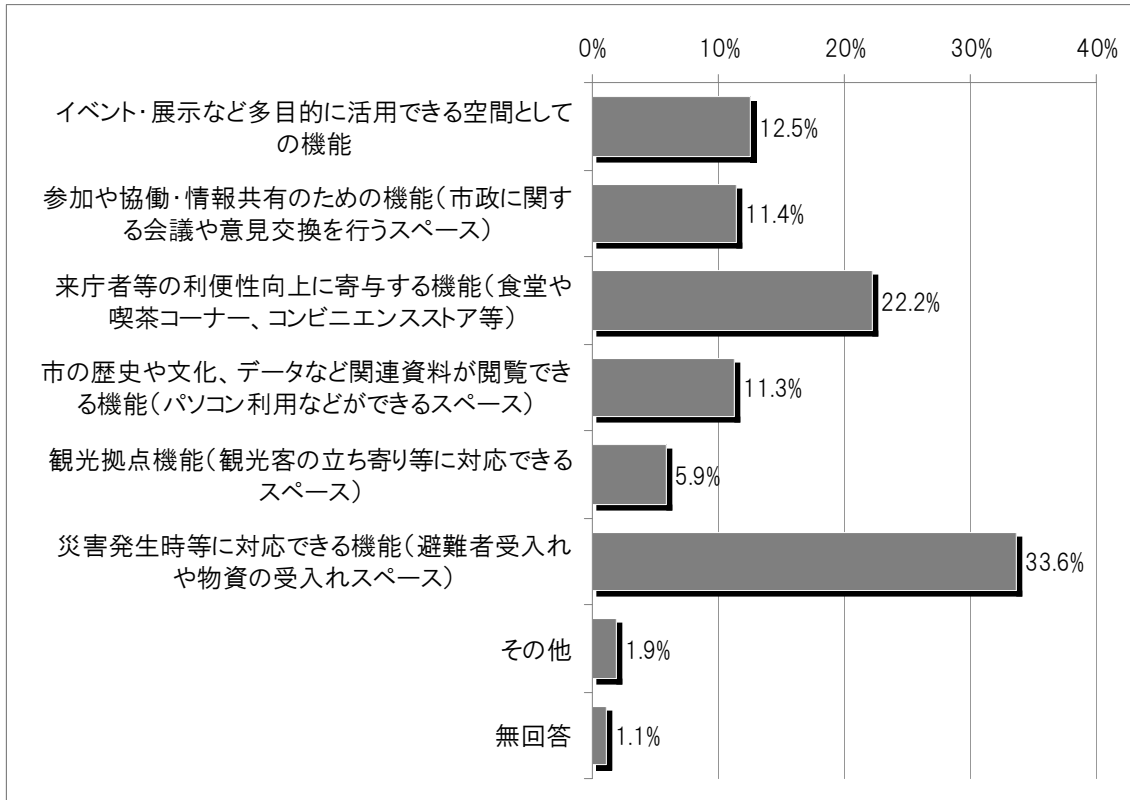


表 49 市庁舎に必要と考えられる新たな機能について

選 択 肢	回答数	構成比
イベント・展示など多目的に活用できる空間としての機能	418	12.5%
参加や協働・情報共有のための機能（市政に関する会議や意見交換を行うスペース）	381	11.4%
来庁者等の利便性向上に寄与する機能（食堂や喫茶コーナー、コンビニエンスストア等）	743	22.2%
市の歴史や文化、データなど関連資料が閲覧できる機能（パソコン利用などができるスペース）	378	11.3%
観光拠点機能（観光客の立ち寄り等に対応できるスペース）	197	5.9%
災害発生時等に対応できる機能（避難者受入れや物資の受入れスペース）	1,125	33.6%
その他	65	1.9%
無回答	38	1.1%
合計	3,345	100.0%

【クロス集計】

- 性別による回答の違いはそれほどありません。
- 年齢層別による違いでは、20才代以下に比べ30才代以上では「市の歴史や文化、データなど関連資料が閲覧できる機能」の回答が多くなっています。
- 質問5の理想とする庁舎の回答でも年齢層が高まるにつれ、「越谷市に住むことが楽しく感じられ、愛着が持てる庁舎」や「越谷らしさを感じられる庁舎」を求める傾向が強くなっていったことから、地域の固有性の大切さの認識や郷土の歴史・文化に興味を強めているものと考えられます。

表 50 性別・年齢層別の回答割合

選 択 肢	男性	女性	20才代以下	30～50才代	60才代以上	全体
イベント・展示など多目的に活用できる空間としての機能	13.6%	11.8%	14.8%	12.9%	11.8%	12.5%
参加や協働・情報共有のための機能（市政に関する会議や意見交換を行うスペース）	12.2%	10.9%	12.0%	11.4%	11.4%	11.4%
来庁者等の利便性向上に寄与する機能（食堂や喫茶コーナー、コンビニエンスストア等）	22.1%	22.5%	21.8%	22.6%	22.1%	22.2%
市の歴史や文化、データなど関連資料が閲覧できる機能（パソコン利用などができるスペース）	11.6%	11.1%	6.0%	11.4%	12.4%	11.3%
観光拠点機能（観光客の立ち寄り等に対応できるスペース）	6.0%	5.9%	10.6%	5.0%	6.0%	5.9%
災害発生時等に対応できる機能（避難者受入れや物資の受入れスペース）	32.6%	34.7%	32.7%	33.9%	33.9%	33.6%
その他	1.5%	2.3%	1.8%	2.6%	1.3%	1.9%
無回答	0.4%	0.8%	0.4%	0.3%	1.1%	1.1%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

■自由記述（自由回答のまとめ）

アンケート標本数 1,423 票のうち、自由回答欄には 367 票（25.8%）の記入がありました。

筆記回答のあった内容のうち、新庁舎建設に関する意見・提案内容を個別に分類し、同様の意見・提案を整理した結果を以下に示します。

- 建設コストに配慮し、財政に負担のかからない庁舎にして欲しい（同様意見 46 件）
- デザインを重視した華美な庁舎は必要ない（同様意見 37 件）
- 新庁舎は、安全性、利便性、機能性重視で整備して欲しい（同様意見 35 件）
- 目的の担当窓口までわかりやすく行かれるように工夫してほしい（同様意見 26 件）
- 耐震性、防災性の高い、安全な庁舎にして欲しい（同様意見 26 件）
- 授乳室やキッズコーナー、トイレの充実、バリアフリー化等を図ってほしい（同様意見 22 件）
- 駐車・駐輪スペースを十分確保してもらいたい（同様意見 22 件）
- 省エネ、環境対策の充実、周辺景観と調和した庁舎にして欲しい（同様意見 20 件）
- 市役所に行かなくても地区センターなどで用事が足りる（同様意見 9 件）
- 飲食や休憩のできる機能を充実して欲しい（同様意見 9 件）
- 土日営業、夜間窓口設置など市民利用の視点で利便性を向上して欲しい（同様意見 8 件）
- 各種手続きの待ち時間を短縮するよう機能を向上して欲しい（同様意見 8 件）
- 新庁舎の整備は不要（同様意見 8 件）
- 現在地よりも利便性の良い場所に本庁舎を移転して欲しい（同様意見 7 件）
- 主要駅等から庁舎までの公共交通アクセスを充実して欲しい（同様意見 6 件）
- 待合スペース等を十分に確保してほしい（同様意見 6 件）
- 庁舎には最低限のものを整備すればよい（同様意見 6 件）
- 分散している庁舎を一つに集約してもらいたい（同様意見 5 件）
- 個室などで相談できる機能を充実してほしい（同様意見 5 件）
- IT機能の充実等による利便性の向上を図って欲しい（同様意見 5 件）
- 建替ではなく耐震補強やリフォーム等で費用削減に努めてもらいたい（同様意見 5 件）
- イベントやコミュニケーションが図れるスペースを確保して欲しい（同様意見 5 件）
- 市民が誇れるデザイン・利便性の高い庁舎にして欲しい（同様意見 4 件）
- 災害時の避難場所にできるようにして欲しい（同様意見 3 件）
- 明るい印象を与える外観にして欲しい（同様意見 3 件）
- 庁舎には最低限のものを提供していただければよい（同様意見 2 件）
- イベント空間などは不要（同様意見 2 件）
- 庁舎は新築したほうが良い（同様意見 2 件）
- その他（54 件）
- 庁舎整備以外の行政への要望（37 件）
- 職員の対応、行政に対する不満の意見（27 件）

越谷市役所庁舎に関する市民アンケート ご協力をお願い

昭和44年（1969年）の建設以来、44年以上が経過する越谷市役所本庁舎の耐震性能は、平成13年度に行った耐震診断の結果、大規模地震に対しては倒壊または崩壊する危険性が高いとされています。

このため、市では現在「越谷市本庁舎整備審議会」を設置し、本庁舎の整備に関しいろいろな事項を様々な視点から協議しております。

そこで、市民の皆様の市庁舎の課題への関心や、庁舎に必要な機能等に対するご意見をお聞きし、庁舎整備に関する今後の計画づくりに役立てるため、アンケート調査を行うことといたしました。

調査方法といたしましては、越谷市民の中から3,000人の方を無作為に抽出し、本アンケートを送付させていただきました。

ご多忙のところ大変恐縮ですが、本調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、調査票は無記名方式です。ご回答いただいた内容は全て統計的に処理されますので、ご回答いただいた内容から個人が特定されることは一切ありません。

平成26年1月 越谷市本庁舎整備審議会

■記入上のご注意

1. ご回答は、お手元に届いた宛名の方が記入されますようお願いいたします。
2. ご記入は、鉛筆又はボールペンでお願いします。
3. お答えは、最初から1問ずつ順を追ってお答えください。
4. お答えは、あてはまる回答の番号に○をつけてください。
5. お答えのなかで「その他」を選んだ際は、その内容を具体的にご記入ください。

（アンケートのご返送について）

ご回答いただきましたら、本アンケートを同封の返信用封筒に入れ、

1月20日（月）までに、郵便ポストにそのままご投函くださいますようお願い申し上げます。

【アンケートについてのお問い合わせ先 : 越谷市本庁舎整備審議会 事務局】

越谷市役所 総務部総務管理課 庁舎管理係〔担当：齊藤（秀）・三ツ木〕

電話 048-963-9134（直通） FAX 048-965-6433

E-mail 10033400@city.koshigaya.saitama.jp

越谷市役所庁舎に関する市民アンケート

質問1 あなたはこの1年間、どのくらいの頻度で市役所を訪れましたか。
 あてはまるものを1つ選んで、数字を○で囲んでください。
 また、2から6までを選んだ方は平均滞在時間もご記入ください。

回答欄	1. 0回 2. 1回 (滞在時間 : 約 時間) 3. 2~3回 (平均滞在時間: 約 時間) 4. 4~6回 (平均滞在時間: 約 時間) 5. 7~10回 (平均滞在時間: 約 時間) 6. 10回以上 (平均滞在時間: 約 時間)
-----	--

質問2 (質問1で2から6までを選んだ方にお伺いします。)
 あなたは主にどのような目的で市役所を訪れましたか。
 あてはまるものを選んで、数字を○で囲んでください。
 また、その内容について右の欄からあてはまるものを○で囲んでください。

回答欄 (選択はいくつでも結構です)	1. 住民票、印鑑証明、戸籍に関すること 2. 国民健康保険、国民年金に関すること 3. 税金に関すること 4. 福祉に関すること 5. 環境、ゴミに関すること 6. 建築、道路、下水道、公園に関すること 7. 防災に関すること 8. 学校教育、保育、子育てに関すること 9. 自治会や地域のことにに関すること 10. 議会の傍聴 11. 仕事上での手続き、調査など 12. その他(下の欄にご記入ください)	手続き 相談 会議 手続き 相談 会議 手続き 相談 会議 手続き 相談 会議 手続き 相談 会議 手続き 相談 会議 手続き 相談 会議 手続き 相談 会議 手続き 相談 会議 手続き 相談 会議 手続き 相談 会議 手続き 相談 会議
	[]	手続き 相談 会議

質問3 あなたは主にどのような手段で市役所を訪れましたか。
 あてはまるものを1つ選んで、数字を○で囲んでください。

回答欄	1. 徒歩のみ 2. 自転車 3. バイク 4. 自動車 5. 電車と徒歩 6. バス 7. タクシー 8. その他 []
-----	--

<p>質問4 あなたは、現在の市本庁舎にどのような課題があると思いますか。 下の ア から シ の項目ごとに、あなたの考えに近いものをそれぞれ 1つ選んで、数字を ○ で囲んでください。</p>					
項 目	そ う 思 う	ど ち ら か と い う	ど ち ら か と い う	そ う は 思 わ な い	わ か ら な い
ア. 窓口スペースなどのゆとりが 少ないため、個人のプライバシ ーが十分確保されていない。	1	2	3	4	5
イ. 災害対策の拠点として、大地 震や火災などに耐えられる建物 となっていない。	1	2	3	4	5
ウ. 庁舎の窓口が分散していて、 利用しにくい。	1	2	3	4	5
エ. 高齢者にとって利用しやすい 施設となっていない。	1	2	3	4	5
オ. 外国人にとって利用しやすい 施設となっていない。	1	2	3	4	5
カ. 駐車場、駐輪場などが十分で はない。	1	2	3	4	5
キ. 省エネルギーや省資源など環 境面に十分配慮されていない。	1	2	3	4	5
ク. 市民が利用できるロビーや憩 いのスペースなどが少ない。	1	2	3	4	5
ケ. 市のシンボルとなるようなデ ザインではない。	1	2	3	4	5
コ. 市役所以外の複合施設（市民 利用施設等）が併設されていな い。	1	2	3	4	5
サ. 建物や広場が周囲の景観と調和 していない。	1	2	3	4	5
シ. 市民サービスの向上に結びつ く情報通信技術（ICT）化に 対応していない。	1	2	3	4	5
その他の課題 (右の欄にご記入ください)	〔 〕				

質問5	あなたはどのような市庁舎が理想だと思いますか。あなたの思い描く市庁舎像に近い考えを次の中から選んで、数字を○で囲んでください。
回答欄 (3つまで選択してください)	1. すべての市民に開かれた庁舎 2. 機能性・効率性の高い庁舎 3. 市民に親しまれ、まちづくりの拠点となる庁舎 4. 防災拠点機能を備えた庁舎 5. 越谷市に住むことが楽しく感じられ、愛着が持てる庁舎 6. 環境にやさしい庁舎 7. 越谷らしさが感じられる庁舎 8. その他 []

質問6	市庁舎が市のまちづくりにおいて果たす役割について、あなたが重要視することは何ですか。次の中から選んで、数字を○で囲んでください。
回答欄 (3つまで選択してください)	1. ユニバーサルデザインが施されるとともに国際化にも対応した多様化の拠点としての役割を果たすこと 2. 市としてのシンボルとなり、市外の人に誇れる場としての役割を果たすこと 3. 国際交流の拠点となり、さまざまな交流イベントの会場としての役割を果たすこと 4. 地球環境に配慮し、緑あふれる広場や河畔とのつながりなどを意識した憩いの場となること 5. さまざまな市民活動の拠点としての役割を果たすこと 6. 市民の健康づくりの拠点となり、健康関連のイベント会場となること 7. 中心市街地等と一体となって、買い物客等の回遊性(歩き回ること)を刺激するイベントの会場となること 8. 災害時の情報収集、情報発信の拠点となること 9. その他 []

